

JALまねびより

2019

9


September Vol.42

◀ 今月の特集 ▶ 島根のいいもの再発見!! 「飯南町 パプリカ」 雲南地区本部



日本武尊
飯南高校 神楽愛好会

Xaomichi 

 JALまね 出雲地区本部版

来月の外勤日は **10月19日(土)**



島根には誇れる農産品がたーっくさん!

島根のいいもの 再発見!!

直撃・生産者インタビュー

飯南町 パプリカ

9月は、雲南地区本部。飯南町で、パプリカの生産に取り組む中野良介さんにお話を伺ってきました。

都会から田舎へ移住

中野さんは元々神戸でサラリーマンとして働いていましたが、「当時は仕事に対して特にやりがいを持ってず、ただ何となく生きていた」と振り返ります。気づけば30代も半ばになり、このままの生活に疑問を感じ始めた頃、以前から『田舎で農業をしたい』という妻の言葉にだんだん共感していき、移住先を探し始めました。インターネットで全国中の田舎を隈なく探していたところ、妻が「ここはどう?と見せてくれたのが飯南町でした。もちろん行ったこともなく、縁もゆかりもない地でしたが、役場に電話し、とりあえず一度見学に行くこと



お話をお伺いした中野良介さん。

に。初めて訪れた際、担当職員の対応や目の前に広がるロケーションを見てすぐに気に入り、2012年、妻と子ども2人の家族4人で飯南町へ移住しました。

充実した農業研修制度と地域の関わり

飯南町ではUターンして自営就農を目指す人に、研修先の紹介や空き家の斡旋、研修中の生活費の支給など手厚い支援を行っています。その充実した制度があったことも、中野さんが飯南町を選んだ理由のひとつ。2年間の研修期間中には、研修先農家でパプリカ、メロンなどの栽培をしながら、初めて携わる農業の知識を身につけていきました。師匠からは苗の植え方から農機具の使い方などの基本的な技術はもちろん、「消防団への参加、近所の葬式の手伝い、祭りの担い手」など、この地域で生きていくために大切なことを一から教わりました。最初は戸惑いながらも言われた通り参加していましたが、だんだんと地域の人との関わりが深くなり、今ではしっかりと信頼関係を築けるまでに。おかげで、近所の

自営就農スタート

農家さんに気軽に質問できたり、農地を探している時に声を掛けてもらえたりと、「この地域の一員」として助けてもらうことが増えたそうです。

研修を終え、「中野あおぞら農園」として自営就農をスタート。当初はパプリカを主に、露地畑で大豆やサツマイモなどの作物も栽培していましたが、昨年ハウスを移動する際、パプリカだけに集中しようという決意。現在、中野さん



大きくて甘いパプリカ。噛めば果汁の多さも際立つ。



現在、12棟のハウスで栽培を行っている。赤、黄の品種ごとにハウスを分けている。



毎年、気候条件などを考慮しながら栽培方法を変えていく。

「今年で6年目になります
が、実はまだ『これが自分の
やり方』という決定的なもの
は見つかっていません。という
のも、気候や条件が毎年違う
ので、やり方を確立するのは
とても難しいんです。」と語る

毎年、試行錯誤を重ねていく

が所有するハウスは12棟。約30aもの広い土地に赤、黄、それぞれのパプリカの苗が所狭しと植えられています。飯南町のパプリカは、大きく、綺麗なベル型で定評があります。毎年春に定植し、7月末から収穫が始まります。ほぼ毎日収穫できるので、朝早くから夜遅くまで作業が続き、人手が足りないくらいまで忙しくなるとか。霜が降りる11月には株が枯れ、この年の栽培期間が終了します。農園で収穫するパプリカの量は年間約8tにものぼります。



株間が広いと風通しが良く悠々と成長するので品質の良いものが収穫できる。病気も出にくいので減農薬が可能になる。



今年は遮光資材を設置した。費用は飯南町が半額助成している。

中野さん。去年やったことを今年同じようにやってもうまくいかないことが多く、毎年試行錯誤を重ねながら栽培を続けています。例えば、農薬の種類や、追肥の適切なタイミング、株をどのくらいの間隔にするか、何本仕立てが良いかなど、その都度試すことはたくさん。今年は最初に有機質なものを肥料と一緒に混

パプリカ 一口メモ

鮮やかな彩りを見せるパプリカ。最初はピーマンのように緑色の実をつけ、熟すと赤、黄、オレンジの色になります。パプリカは一般的に夏の高温になると色付きが早くなり、実が小さいまま収穫されることが多いのですが、標高の高い飯南町では他の地域に比べ気温が低いので色付きも遅く、ひとまわり大きくなるまでじっくり育てることができます。このような好条件を持つ飯南町での栽培を広め、産地化していこうという取り組みが始まっています。甘くて、肉厚で、ジューシーな飯南町のパプリカをぜひご賞味ください。



中野さんは「体力的にはしんどいことが多いが、生きていけると実感しながら今の生活を楽しんでいる」と語る。

ぜ、土作りにこだわりました。このように毎年、JAの担当者と一緒に考えながらパプリカ作りに挑戦しています。

生きているという実感

中野さんは、農業を「生業」としてやっていこうと覚悟して飯南町に移住しました。しかし、現実には厳しく、冬はアルバイトで生計を立てています。それでも、やめようとか帰ろうという気持ちにならなかった

飯南町をパプリカの名産地に

6次産業化の取り組みとして今年の冬季から、パプリカを使用したドレッシングの商品開発を、妻が中心となって本格的に行う予定です。それを足がかりに、今後は色々な販路を開拓し、生産の分野でも加工の分野でも同時に安定した収入を得ることが目標で

ことはありません。周りから教わったことを自分なりに受け止め、忠実に実行していくことで、パプリカの生産も地域の付き合いも軌道に乗ってきました。以前のように、ただ何となく生きている感じではなく、ここではしっかりと地に足をつけて生きていると実感できているからです。



「パプリカといえば飯南町」と言われるように、JAも町も新規就農者に対して支援を行っている。

す。そして、将来的に飯南町をパプリカの名産地にしたいと思っています。日本国内には、まだ圧倒的な産地がありません。だから、『パプリカといえば飯南町』と言われるようになるまで、一緒に生産していける仲間が欲しいですし、自分も協力して人材を育成できればと思っています。

基本方針

1

営業に関する ご報告

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」への挑戦

「農業者の所得増大」や「農業生産の拡大」を達成するため、増加している加工・業務用需要を取り込むべく、外食・中食業界に対する直接販売に取り組みます。また生産資材価格の引き下げを実現するため、県域を超えた銘柄の集約や費用対効果による総合的な提案を行い、生産資材コストの削減に取り組みます。

「地域の活性化」への貢献

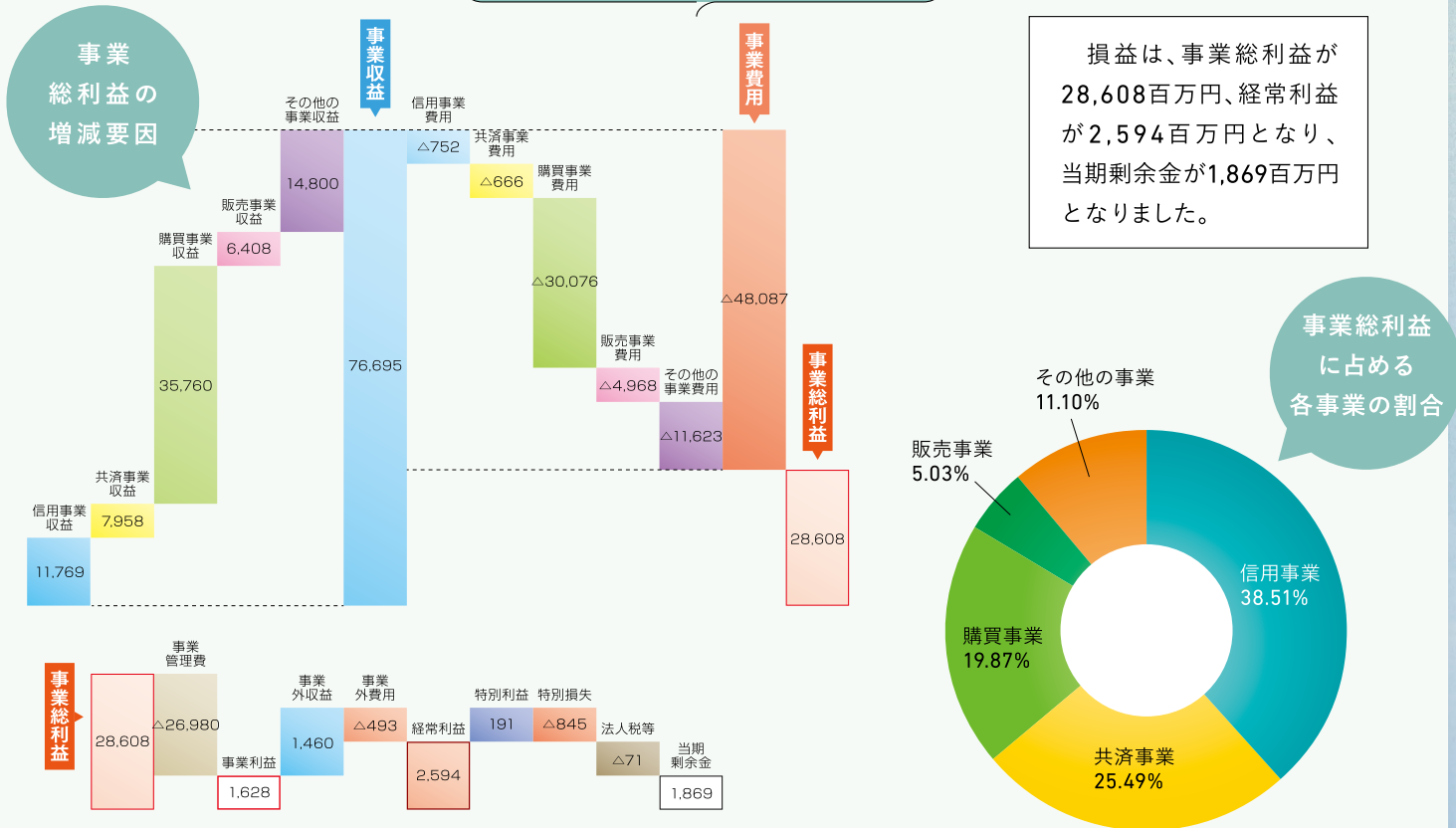
総合事業（営農・経済、生活・購買、信用、共済、厚生、旅行、介護、直売・加工等）を通じて、組合員と地域住民の生活インフラの一翼として役割を發揮します。

健全経営の為の取り組み

「健全な経営体質」と「透明感のある組織運営」を構築するため、財務体質の健全性向上に努め、リスク管理態勢の確立とコンプライアンスを重視した職場づくりに取り組みます。農協法の理事構成要件の改正もふまえ、業務執行体制を見直し、地域農業の担い手や実践的な能力を有する者の登用拡大に向けて取り組みます。自ら策定した自己改革の取組施策を着実に実践するため、組合員の皆さまとの対話を重視し、組織を挙げて取り組みます。



損益の状況（平成30年度）



貸借対照表

(単位:千円)

科目		平成29年度 (平成30年3/31)	平成30年度 (平成31年3/31)
資産の部	1 信用事業資産	975,949,366	987,179,693
	2 共済事業資産	397,506	7,663
	3 経済事業資産	14,997,625	15,701,926
	4 雑資産	5,215,288	5,167,691
	5 固定資産	37,071,750	37,316,896
	6 外部出資	59,003,319	68,104,802
資産の部 合計		1,092,634,857	1,113,478,673

科目		平成29年度 (平成30年3/31)	平成30年度 (平成31年3/31)
負債の部	1 信用事業負債	991,018,624	1,011,549,963
	2 共済事業負債	5,744,488	5,487,169
	3 経済事業負債	5,115,669	4,928,414
	4 設備借入金	485,087	336,511
	5 雑負債	3,301,824	3,288,716
	6 諸引当金	7,935,763	7,918,073
	7 繰延税金負債	1,047,200	733,863
負債の部 合計		1,014,648,659	1,034,242,712
純資産の部	1 組合員資本	69,692,786	71,143,209
	2 評価・換算差額等	8,293,411	8,092,750
	純資産の部 合計		77,986,198
負債および純資産の部 合計		1,092,634,857	1,113,478,673

損益計算書

(単位:千円)

科目		平成29年度 (自平成29年4/1 至平成30年3/31)	平成30年度 (自平成30年4/1 至平成31年3/31)
1. 事業総利益		28,449,324	28,608,268
1	信用事業収益	12,233,870	11,769,657
2	信用事業費用	1,875,658	752,883
信用事業総利益		10,358,212	11,016,773
3	共済事業収益	8,379,262	7,958,664
4	共済事業費用	722,186	666,076
共済事業総利益		7,657,076	7,292,587
5	購買事業収益	35,926,078	35,760,631
6	購買事業費用	30,299,985	30,076,264
購買事業総利益		5,626,092	5,684,366
7	販売事業収益	10,544,403	6,408,070
8	販売事業費用	8,933,192	4,968,659
販売事業総利益		1,611,211	1,439,410
9	保管事業収益	221,626	239,373
10	保管事業費用	82,664	79,375
保管事業総利益		138,961	159,998
11	加工事業収益	5,789,549	5,729,639
12	加工事業費用	5,227,567	5,192,587
加工事業総利益		561,981	537,051
13	利用事業収益	2,039,940	2,050,556
14	利用事業費用	1,108,216	1,146,630
利用事業総利益		931,724	903,926
15	葬祭事業収益	3,745,670	3,766,303
16	葬祭事業費用	2,334,997	2,347,977
葬祭事業総利益		1,410,672	1,418,326

科目		平成29年度 (自平成29年4/1 至平成30年3/31)	平成30年度 (自平成30年4/1 至平成31年3/31)
17	宅地等供給事業収益	228,937	62,003
18	宅地等供給事業費用	202,360	42,889
宅地等供給事業総利益		26,576	19,114
19	農業経営事業収益	932,824	1,072,072
20	農業経営事業費用	1,052,509	1,042,874
農業経営事業総利益		△ 119,684	29,198
21	その他事業収益	1,458,278	1,292,704
22	その他事業費用	688,720	543,362
その他事業総利益		769,558	749,341
23	指導事業収入	622,287	585,607
24	指導事業支出	1,145,345	1,227,434
指導事業収支差額		△ 523,058	△ 641,827
2. 事業管理費		27,432,571	26,980,072
事業利益		1,016,752	1,628,196
3. 事業外収益		1,518,861	1,460,576
4. 事業外費用		345,711	493,978
経常利益		2,189,902	2,594,794
5. 特別利益		286,540	191,495
6. 特別損失		1,458,240	845,006
税引前当期利益		1,018,202	1,941,283
法人税等合計		408,458	71,582
当期剰余金		609,743	1,869,701
当期首繰越剰余金		489,001	679,627
経営基盤強化積立金取崩額		919,565	94,341
税効果積立金取崩額		8,060	-
当期末未処分剰余金		1,098,745	2,643,671

農業関連事業

購買事業(生産資材)

肥料・農薬・飼料について水稻肥料・農薬・飼料の銘柄集約による値下げ等を通じ、低価格による供給を進めた結果、生産購買品供給高は12,847百万円となりました。



2

事業別業況
(平成30年度)



販売事業

米の買取制度を30年産米も継続実施し、また畜産の増頭対策や購買者誘致、園芸重点推進5品目の拡大を継続的に取り組んだ結果、販売品販売・取扱高は37,752百万円となりました。

生活関連事業

購買事業(生活物資)

地産地消を基本に「安全・安心・新鮮」にこだわったJAらしい店舗運営や、県下統一企画による自動車・ガス・石油事業の各種セールを展開した結果、生活購買品供給高は21,067百万円となりました。



共済事業

共済渉外担当者(LA)を中心とした3Q訪問活動による保障ニーズに即した提案活動、支店共済担当者(スマイルサポーター)による迅速・丁寧な窓口対応、次世代層への出産育児を応援する「JAしまねこども倶楽部」の普及に努めた結果、長期共済保有高が3,438,480百万円、年金共済保有高が21,292百万円となりました。

信用事業

組合員・利用者のニーズを踏まえた各種キャンペーンや新商品の投入など、農業と地域利用者をつなぐ金融サービスの提供に取り組んだ結果、貯金が期末残高977,670百万円、貸出金が期末残高298,851百万円となりました。





農業振興支援事業での持続的営農への支援

平成30年度は、担い手の規模拡大や複合型営農の促進、新規就農者の初期投資の軽減対策を実施しました。

特に、園芸重点推進5品目の拡大支援やしまね和牛子牛の増頭対策等、担い手の複合型営農形態の促進に向けた取り組み支援に加え、新規就農者の育成確保、担い手の健康対策に3.6億円を活用し支援しました。

また、JAしまねによるリースハウス・リース園地のリース料負担軽減対策を実施し、規模拡大や新規参入の促進を支援しました。

3

農業振興
活動

4

地域密着型
金融への
取り組み

子育て応援宣言

平成28年10月より「子育て応援宣言」として、「地域の活性化」「子育てしやすい環境」を目指し、住宅ローン・マイカーローン・教育ローンで子育てを頑張る皆様を全力サポートしています。

住宅ローンでは、「子育て応援サービス」としてお子様の人数に応じた金利引下げを実施し、多くの方にご利用いただいています。

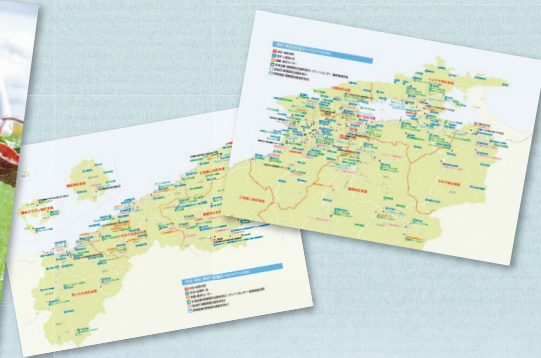
また、貯金商品では18歳以下のお子様がいらっしゃる方を対象とした金利上乗せ定期積金をご用意しています。



2019 DISCLOSURE

ディスクロージャー誌の本冊ではJAの経営内容や事業所の配置図など、JAの詳しい情報をご紹介します。ご要望の方には、信用店舗にて無料配布しております。また、JAしまねウェブサイトでも閲覧いただけます。

ウェブサイト <http://ja-shimane.jp/disclosure/>



JALしまね

PROFILE

設立	平成27年3月1日
本店所在地	鳥根県松江市殿町19-1
出資金	225億円
総資産	1兆1,134億円
単体自己資本比率	14.06%
組合員数	230,154人
役員数	72人
職員数	3,536人
事務所数	201



雲南地区本部 よこただんだん市場



産直へようこそ!!

可成り離れた地域の特産品「よこた」を、
島根県内の産直店舗で「紹介」します。



「仁多米」コーナーは
県外の方にも好評

取材当日も、
取られている。
の人々に支え
ている地元
ご利用いた
よりも、日々
か。そして何
だけののだと
経由していた

直売所「よこただんだん市場」は豊かな自然が残る奥出雲町横田地区の人気の直売所だ。
横田市街地より約1km、広島県福山市と島根県雲南市を結ぶ国道314号線沿いに店を構える同直売所は、県外からの来店者も多く、行楽シーズンには店舗前のスペースで地元そば打ちグループがそばの実演販売を行うなど、季節を通して来店者を楽しませる。
中国やまなみ街道（尾道松江線）の開通当初は、314号線の交通量が減少し来店者が少なくなるのではと心配されたが「よこただんだん市場」の来店者数に大きな変化はなく、今でもたくさんのお客様にご来店いただけている」と同直売所の運営を手掛ける(有)さあやファームの加納弘光さんは話す。心配された県外からの来店者は、以前から同直売所を訪れていた多くがリピーターとなり、移動の際わざわざ同直売所を



甘〜いトウモロコシ!

も同直売所を多くの方が訪れる理由の一つ。
9月のおすすめはブドウ。昼夜の寒暖差が大きい奥出雲町産は抜群の甘さと評判で、同直売所も太鼓判を押す逸品。
これからは、米どころの奥出雲町が全国に誇る「仁多米」をはじめ、秋野菜や手作りの漬物など奥出雲町ならではの商品が並び、店内は実りの秋に彩られる。



漬物など手作り品コーナーも
充実の品ぞろえ

開店直後にお邪魔したにも関わらず、地元の方も次々と来店されていた。
同直売所への出荷者は、平成15年のオープン時は80人だったが、現在は約200人が登録している。専業農家から趣味の家庭菜園をきっかけに出荷を始めた人など、様々な人たちから、毎朝バラエティに富んだ豊富な農産物が出荷される。その品質もさることながら「市況と比べて値段の変動が比較的少ない（加納さん）」の



スタッフの皆さんからは
「花もオススメ!」と
教えていただきました

店名：よこただんだん市場
所在地：島根県仁多郡奥出雲町下横田1652-1
TEL：0854-52-9234
営業時間：10:00～18:00／土・日・祝9:00～17:00
定休日：年中無休（但し、年末年始と1月～4月下旬の火曜日は休み）



JAしまね農業振興支援事業 活用事例のご紹介



JAしまねでは、経営拡大に向けた基盤整備や機械等の更新対策、県域でのモデル事業を実施するために、「JAしまね農業振興支援事業」に取り組んでいます。

出雲市 NPO法人 つわぶきネット (特定非営利活動法人 障がい者就労支援ネットワークつわぶき)

平成25年6月に開所した障がい者支援事業所「NPO法人 つわぶきネット」では、市内の企業からの受託作業などを行うほか、利用者の方の工賃（時給）向上を図ろうと、菌床しいたけを栽培しています。平成27年2月に冷凍輸送コンテナを改装した「サンマッシュBOX」を導入し、同年7月に栽培を開始。大幅な工賃の向上につながり、翌28年度に2基目、平成30年度には3基目を設置しました。3基目の導入にJAしまね農業振興支援事業を活用しています。

菌床しいたけ栽培に適した環境は人間にとっても快適で、収穫等の作業も重労働は少なく安全です。特に「サンマッシュBOX」は普通のハウスと比べても保温性能が高く、1年を通して安定した環境で作業できます。

今では、収穫、出荷調整作業など、作業の9割以上は利用者の方がされています。作業工賃も栽培を始める前の倍以上になったそうです。

同法人支援スタッフの松本頼明さんは「利用者の皆さんの作業時間は決まっていますが、環境が整ったことで活躍していただけるチャンスが増えました」と成果を話してくださいました。



サンマッシュBOXについて説明する松本さん



一所懸命 青年連盟

くにびき青年連盟

くにびき青年連盟は、松江市管内の農業者やJA職員など108名で構成する組織です。地域農業の発展や地域の活性化、地産地消の推進などを目的に盟友が一丸となり、日頃より活動をしています。主な活動として、市内の幼稚園と米作り体験を通じた食農教育や親子芋掘り大会などの農業体験、農林水産祭等の各種イベントでの地場産農産物の販売やPRなどに取り組んでいます。また、平成29年度から、農業者へ出会いの場を創出しようと婚活イベントも開催しています。

このような活動を広くPRするためにFacebookを活用しています。ぜひ、ご覧ください！



園児と米作りを通して交流



各種イベントで地場産農産物をPR



婚活で出会いの場を創出

雲南

交通安全や命の大切さ伝える ひまわりの絆プロジェクト

京都府での交通事故で亡くなった男児が生前に育てていたヒマワリの種を全国各地で開花させ、交通安全や命の大切さを訴える「ひまわりの絆プロジェクト」。雲南市大東町の福間進さん(80)の自宅では元気なヒマワリが咲いています。

福間さんは以前から道幅が狭くて事故が多かったという自宅前の道路に自費で看板を設置するなどして注意喚起に取り組んでいました。2017年から島根県でも同プロジェクトが始まったことを知り、その年に10粒受け取りました。

昨年は6本、今年は20本が開花。花が終わった後は大東町下佐世にある玄寺の総代らが組織する「大東ひまわり」を通じて希望者に種を10粒ずつ分ける予定です。福間さんは「特別なヒマワリの輪が一人ひとりに広がっていき、安全運転を心がける人が増えてほしい」と各地で花開くヒマワリに想いを馳せます。



ヒマワリを育てている福間さん(左)と大東ひまわりのメンバー青木万昌さん

くにびき

更なる品質の向上を目指す！ 松江大根島牡丹協議会総会を開催

松江大根島牡丹協議会(足立利人会長・73名)は8月8日、八束支店で総会を開催しました。

当日は、会員や関係者など25名(委任状出席22名)が出席。冒頭、足立会長が「国内外で高い評価を得ているが、出荷数量は年々減っている。生産者同士で生産技術や意欲を向上させ、より多くの牡丹を出荷できるよう、協力していこう」と挨拶しました。

その後、足立会長を議長に選任し、議事を進行。平成30年度の事業報告や令和元年度の事業計画や収支予算、買取牡丹苗単価など上程された全議案について承認しました。

今年度は国内での販促のほか、ニューヨークや台湾など、国外での販促も計画しています。



隠岐

夏の夕市で賑わい

隠岐農産物生産者協議会は8月9日、隠岐の島町内にある施設「隠岐島文化会館」を会場に恒例の夏の夕市を開催しました。

毎年お盆前に開催し、「お盆は地元産品で」をコンセプトに地元で採れた農産品や加工品等を販売しています。今年は4組の生産者(団体含む)とJAしまね隠岐地区本部が出店し、お盆向けのシキミやサカキ、ホオズキなどの供え物やメロン、夏野菜といった農産物など多数の品揃えとなりました。

この日は約60名のお客様がお盆向けの商品などを求め来場され、にぎわいを見ることができました。年末には「年の瀬市」として、お正月向けの商品などを販売する催しを予定しています。一方で、開催にあたっての課題もあり、生産者の高齢化などにより、数年前の開催から見れば半数程度の出店者数となっていることなどから、開催規模が小さくなっています。今後、開催内容などを工夫、検討する中で、引き続き地域の皆様に喜んで頂けるよう、継続していければと考えています。



やすぎ

安来の梨 選果始まる

やすぎ梨生産部会は8月2日、下坂田町の梨選果場で今季の梨の選果をスタートしました。当日は県や市、運送業者等を招き、総勢60人の関係者が集まり開場式を開催しました。

2日から「幸水」、23日からは「二十世紀」の選果が始まり、今季は「幸水」4ト、「二十世紀」50トの出荷、約2,500万円の販売を計画しています。また、選果場では進物イベントを行っており、毎年多くの方が安来の梨を求めて訪れます。

同部会は26戸の農家が約10畝で梨を栽培しており、安来の梨は好評で市場での根強い人気があります。今後は、地元小学生の選果場見学や市長へ梨の贈呈を行う予定で、

岩田繁樹部会長は「まずは地産地消の拡大で梨の消費を増やし、今後は海外出荷も視野に入れ農家の所得増大を目指していきたい」と話しました。



斐川 「ひかわ女の夏まつり」開催

8月8日、斐川文化会館で斐川地域の女性農業者らで組織する「アグリレディーズネットワーク・ヒロイン」が中心となり「第25回ひかわ女の夏まつり」が開催されました。積極的な農村女性活動を通して女性たちのネットワーク構築と地域の活性化を目指す活動の一環として行われ、今では夏を彩る行事として定着しています。会場では会員手作りの焼きそばや炊き込みご飯、トマトケチャップなどが販売され、舞台ではフラダンスやよさこい、日本舞踊など各団体が日頃の活動の成果を披露しました。また、JAしまね斐川女性部とJA職員も参加させていただき、「パプリカ」の曲に合わせてダンスを披露しました。ダンスの中盤からは、今年入組した新入職員と若手職員によるコント仕立ての劇を取り入れ、会場を盛り上げました。フィナーレでは、山根善治本部長と女性部の飯塚順子部長も参加し、同地区本部が提供した「飴」をまき、祭りを締めくくりました。



**隠岐
どうぜん** 支店を華やかに
「おもてなし活動」

JAしまねふれあい活動の一環として“おもてなし”をテーマに支店毎の取り組みを行いました。西ノ島支店では「みどりのカーテン」として日よけを兼ね一日を飾るように、朝顔・夕顔のプランタ植えを金融共済客だまり外側サッシ一面に配しました。支店入口花壇には、昨年の猛暑で残念にも枯れたシャクナゲにかわり、ガザニアを植えました。海士支店では支店周辺の草抜・草刈などの清掃と、花壇やプランタに「サルビア・ペチュニア」などの花を植え気分一新を図りました。また、JA女性部も統一行動として「ゴーヤ苗による緑のカーテン」に取り組み、実ったゴーヤを支店金融窓口でプレゼントして喜ばれました。なお、西ノ島支店では昨年、町主催の「グリーンカーテンコンテスト」で、最優秀賞の栄冠に輝いていますので、今年も連覇を目指して取り組んでいるところです。



石見銀山 大田市の素材を活かす農産加工セミナー
夏野菜の加工処理を学ぶ

大田市農林業振興協議会農産加工部会は、大田市長久町の石見銀山地区本部本所で「大田市の素材を活かす農水産加工セミナー」を開きました。

石見銀山産直出荷者協議会会員の他、大田市などの関係機関職員が集まりました。

福岡県の「有限会社 職彩工房たくみ」の尾崎正利代表取締役を講師に、余った夏野菜を漬物など保存処理することで有効活用する方法を学びました。

近年では、夏場の気温上昇の影響もあって、全国的に漬物（浅漬）による食中毒も発生しています。

セミナーは、適切な処理方法など実技を踏まえながら行われました。



講義を行う尾崎代表

出雲 「第14回出雲神話まつり」
JAの若手職員が参加

出雲神話まつり振興会と同実行委員会主催の「第14回出雲神話まつり」が8月10日、11日の両日開催され、10日に行われた「出雲盆踊り」に、JAしまね出雲地区本部の入組1、2年目の職員21人が参加しました。同地区本部では毎年若手職員が業務終了後に練習を重ねて踊りに参加し、地域振興に取り組んでいます。

当日は同JA出雲女性部の今市・荒茅・園支部なども含め約1,000人が踊りに参加。それぞれそろいの浴衣などを着て、出雲市今市町のくにびき中央通りを踊りながら練り歩きました。

11日には大津神立河川敷公園で花火大会が行われ、約8,000発の花火が出雲の夜空を彩りました。



出雲盆踊りを踊る職員

西いわみ

特設テントで ケイトウ即売会を開催

益田市でケイトウ栽培を手がけるJAしまね西いわみ女性部ケイトウ栽培グループ(グループリーダー佐々木孝子)は8月9日と10日の両日、同市駅前町JAしまね西いわみ地区本部前で真っ赤なケイトウの即売会を開きました。

メンバーらが育てたケイトウを広く知ってもらおうと平成30年から始めたものです。ケイトウは花の大きさごとに分け、3~4本ずつを一束にしてラッピングして販売しました。

当日はケイトウ60束のほか10種類以上の旬の野菜や果物なども揃え、特設テントでメンバーらが販売し、JA利用者や市民らが足を止め色鮮やかなケイトウを買い求めました。



島根
おおち

ふるさと味覚便発送終了

島根おおち地区本部では、毎年6月下旬から8月上旬にかけて「旬のふるさと味覚便」として、島根で育った農産物を全国へお届けしています。今年も、島根おおち管内で大切に育てられた、トマト、トウモロコシのほか、県内の農産物を準備し、桃太郎トマト約600ケース、スイートコーン約950ケース、アムスメロン約300ケース、アールスメロン約150ケースを県内を含め全国各地に発送しました。今後もより多くの方にふるさとの旬の味をお届けできるよう、販売数増加を目指し取組みを行ってまいります。

冬には「味の絆」として、石見和牛肉、石見高原ハーブ米、きねつき餅等、管内の農畜産物や加工品を全国へお届けします。



島根シャインの美味しさをシェアしよう♥

Instagram♥
フォトコンテスト

開催中

JAしまねでは、『ご縁の国しまね』で栽培された島根県産シャインマスカット【縁~えにし~】の魅力を発信していただくため、Instagramフォトコンテストを開催しています！

応募締切は令和元年9月30日。

皆様からの「縁映え(えにしばえ)」する作品をお待ちしています！

島根シャインマスカットに関する写真を
Instagramで投稿してね！



当選者に
シャイン
マスカット
プレゼント!!

詳細はJAしまねホームページにて
ご確認ください。

<https://ja-shimane.jp/archives/2042/>



いわみ
中央

お見事!浜田市野球スポーツ少年団 JAカップ 第36回 島根県学童軟式野球選手権大会 優勝!

去る8月17、18日に開催されたJAカップ第36回島根県学童軟式野球選手権大会で浜田地区代表の『浜田市野球スポーツ少年団』が3年振り2度目の優勝を果たしました。

決勝戦は優勝候補の一角で地元の松江・隠岐代表の城西レッドスターズとの対戦となりました。初回到4点を先制し試合を優位に進め、投げては原道夢君のコーナーをつくピッチングで強打の城西打線を封じ込めましたが、最終回二死から城西の粘り強いバッシングと守備の乱れなどから3点を奪われ、一時は逆転される状況まで追い込まれましたが、最後のバッターを空振り三振に打ち取り6-4でゲームセット!3年振り2度目の栄冠に輝きました。

スタンドの保護者の方々の大きな歓喜の拍手で閉幕しました。

暑い中での連戦で子供達も保護者の皆さんも大変でしたが、優勝という最高の結果に喜んでおられました。本当におめでとうございます。



タテのカギ

- ②『羅生門』『鼻』は——龍之介の作品です
- ⑥建築士が引いたり広げたり
- ⑧サケなどの卵の塩漬け
- ⑨平仮名もアルファベットもこれの一種
- ⑩便箋に引いてある線
- ⑪資源などを再利用すること
- ⑮王様の耳は——の耳
- ⑰セイゴやゼンゴと呼ばれるうるこを持つ魚
- ⑱長崎県の北の端にある島
- ⑳炭酸水のこと。クリーム——
- ㉑だしで煮た鶏肉を卵でとじてご飯にのせる

ヨコのカギ

- ①島根県の観光名所、——大社。神無月には日本中の神様が集まるのだとか
- ②大福餅の中身です
- ③10月の第2月曜は——の日。国民の祝日です
- ④絵画や色紙を入れます
- ⑤江戸時代の旅人の履き物。二足の——
- ⑦「カラスの足跡」と呼ぶシワができるところ
- ⑩騎手たちが1着を争います
- ⑫日本で3番目に広い湖
- ⑬釣りで使う擬餌針のこと
- ⑭一本釣りで知られる魚の一つ
- ⑰京都三大祭りの一つ、——祭は10月に行われます
- ⑲目で見える範囲のこと
- ⑳得の反対語

二重マスの文字を A～E の順に並べてできる言葉は何でしょうか？

1	6	9		14	18	21
			E			
	7		11		19	
						B
2			12	15		
		10				
						D
3	8				20	
4			13	16		
5				17		
						A

答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒693-8585 出雲市今市町106-1
JAしまね 出雲地区本部 情報システム課 「クイズ」係
2019年10月5日（土）（当日消印有効）

先月号の答え 「サファイア」

ボ	ウ	サ	イ	赤	糸
タ	タ	キ	ロ	シ	ア
ン		ユ	ミ	ト	ゲ
	ツ	キ	ア	カ	リ
キ	メ		イ	ン	ミ
フ	キ	ン		バ	セ
ク	リ		ゼ	イ	キン

・お預かりした個人情報は、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはありません。

けんこうさんぽ 健康散歩

スポーツの秋に筋トレをしてみよう

JA島根厚生連

早いもので秋になりますね。食欲の秋ということでついついご飯を食べ過ぎてしまう季節かと思えます。しかし、食べ過ぎと運動不足は肥満につながります。

肥満予防には食べ過ぎないことも大切ですが、スポーツの秋とも言うように体を動かすのに適した気候でもあります。そこで、今回は運動、特に筋トレに着目してみましよう。

運動は大きく分けて有酸素運動と無酸素運動があります。よく思い浮かべるのは、ウォーキングなどの有酸素運動だと思います。有酸素運動はエネルギー（カロリー）を消費し、肥満の予防や改善につながります。それに対して、無酸素運動は筋肉量を増やすことができる運動です。筋トレがこれにあてはまります。筋肉量が多いと基礎代謝が高くなり、代謝が上がることで消費エネルギーもより大きくなります。加齢や運動不足では筋肉量が減少してしまい、有酸素運動だけでは筋肉量の低下に抗いきれません。そのため、有酸素運動と無酸素運動を適度に組み合わせることが重要です。



自宅でもすぐに始められる筋トレとしてスクワットがあります。下半身は大きな筋肉が集まっており、スクワットはその筋肉をまんべんなく動かすことができます。大きな筋肉を鍛えた方が筋トレの効率もよいため、時間のない方はスクワットなどから始めてみるのはいかがでしょうか。正しいやり方は、踵（かかと）に重心を置き、椅子に座するようにお尻からゆっくり降ろしていきます（つま先に体重をかけ、膝を前に出してしまう屈伸のようなやり方は怪我の危険性も高まるので、間違ったやり方です）。適切な回数は、1セット8～12回とし、1日3セット行います。これを週に2～3日のペースで行うのがオススメです。

しかし、ご高齢の方や、高血圧等の病気を患っておられる方は要注意です。急な運動は筋肉を痛める危険や、急激な血圧上昇などの危険があります。ウォーミングアップを十分に行い、必要であれば医師等と健康状態を確認してから行いましょう。

運動後にはたんぱく質の摂取も大切です。秋の味覚のさんまなど、旬の魚にはたんぱく質が豊富に含まれています。筋トレで体を動かしながら、秋の味覚も堪能する！そんな健康的な秋を過ごせるとよいですね。



地区別組合員大会

令和元年度 地区別組合員大会



ご意見・ご質問にお答えします。

令和元年度の組合員大会は、7月8日から31日まで、管内33会場にて実施しました。DVD上映による平成30年度事業概況報告を行ったほか、店舗再編の取り組みや有線放送事業について説明を行いました。例年通り、事前質問を受け付けながら、当日会場でのご意見・ご要望を多数伺うことが出来ました。同大会において、組合員の皆様より頂いたご意見・ご要望のうち、特に複数回意見を頂いた内容についてご紹介します。

営農部門

Q リース事業について、今後の方針等を教えてください。

A 平成25年から開始しているリース事業は、ぶどう、アスパラ、柿と品目を広げた取り組みを行い、新規就農や規模拡大といった意欲ある農業者にご利用頂いております。今年度は、菌床しいたけリースハウスおよび多伎いちじくリース団地について整備を進めており、皆様のご要望に応じたリース事業を展開していきますので、是非ご相談ください。

Q 出雲地区本部の利益が出たとのことだが、農業者に実感がない。農業所得の増大について取り組んでいるとのことだが、資材がどれだけ安くなったか明確にして欲しい。

A JAしまね統合後、生産資材価格低減のプロジェクトを設置し、協議検討を行っています。肥料については、水稲用を中心に集約銘柄を設定し、スケールメリットによる価格訴求を目指し、予約数量を積み上げて交渉する手法等を取り入れ、銘柄によって、7%〜31%（平成28年比）の引き下げとなっています。農薬については、水稲除草剤において、大型規格・超大型

規格で通常規格（1kg）と比べて16%（平成28年比）の引き下げとなっています。また、組合員の皆様と連携した、車単位の直取りや、メーカー直送など配送方法の見直し等により価格引き下げに取り組んでいます。



Q 島根産の「きぬむすめ」が2018年産米の食味ランキング「A」であったが、今後、消費者の方に購入してもらうためにも、「きぬむすめ」の食味ランキングを「特A」にする対策をとっていただきたい。

A JAしまねでは県の普及部と連携し、平成29年度から島根米食味向上プロジェクトを立ち上げ、県内で選別した圃場で「コシヒカリ」、「きぬむすめ」、「つや姫」の3品種で食味向上試験を実施しています。また、生育ステージ毎に生育調査を実施し、生育状況に応じた肥培管理と水管理等の指導を行っています。最終的には選別した圃場で出来た米のサンプルの品

質・食味等の分析、食味官能試験を行い、「穀物検定協会」への出品物を決定し、出品しています。「コシヒカリ」、「きぬむすめ」では「特A」を取得していないのが現状ですが、引き続き島根県食味向上プロジェクトの中で「コシヒカリ」、「きぬむすめ」の「特A」取得を目指します。

Q 大型営農・集落営農が先細りしていく中で、農業販売高100億円を達成するためにも、新規就農者等のマンパワーが必要ではないか。

A 新規就農者をはじめ後継者対策は喫緊の課題だと認識しております。このため、JAでは、出雲市農業支援センターを窓口とし、行政と連携して新規就農者の確保・育成に努め、新たに新規就農を希望される方への相談から就農まで総合的にサポートしております。

また、就農相談や栽培指導のみならず、懸け橋事業、JA支援事業、業績還元等による補助をはじめ、近年では、リースハウスやリース団地を整備して、産地再生を図るとともに、新規就農に取り組みやすい環境を整えております。

今後も新規就農者の確保・育成に取り組んでまいりますので、お気軽に出

雲市農業支援センター、または各営農センターへご相談ください。

自動車燃料部門

Q JA給油所でガソリン価格に対する優遇制度が各種あると聞くが内容を教えて欲しい。

A 出雲地区本部のJASSでは、土・日・祝日には全油種2円/L引きとし、毎月1日、15日には最優遇単価で提供する特売日「お客様感謝デー」を開催しています。また、給油量に応じたガソリン・軽油の最大3円/L引きや、出雲地区本部自動車課での自動車購入・車検利用による割引など、ご利用頂くほどお得になる優遇制度もご準備しております。その他、スタンプカード企画や総合ポイント付与、季節に応じた各種イベントも開催致しておりますので、是非ご利用ください。

生活部門

Q おさいふカードにおける来店ポイントを辞めた理由について知りたい。

A 平成18年から続けてきたサービスでしたが、導入当初は、チラシやテレビコマercialを全て廃止す

る一方、一人でも多くの方にご来店いただけるよう来店ポイントを実施しました。しかし、競合店の相次ぐ出店により市場環境が厳しさを増す中、現在に至ってはチラシの折り込みなども行っている状況です。来店ポイントは廃止致しましたが、今後も利用者の皆様に価格、サービスの両面でご満足いただけるよう努力して参りますので、ご理解をお願いします。

金融共済部門

Q 生命共済について、最近では短期入院や日帰り入院が増えてきているが見直しが必要なのか。

A JA共済は、「生きるための保障」があり、短期入院や日帰り入院のリスクにも幅広く備える事が出来ます。詳しくは、共済渉外担当者による3Q（サンキュー）訪問活動を通じたお知らせ活動を行っておりますので、ご相談ください。

企画総務部門

Q 「情報いずも」について説明があった。過去には電話、FAXを利用してきたが、現在、放送だけで

の運用になっている。ネットが広く普及している中、廃止の方向で検討すべきではないか。

A 設備機器の老朽化、加入者の減少等の状況から廃止を前提に、出雲市が進める防災無線事業と連携しながら具体的なスケジュール等について検討していきます。

Q 店舗再編の取組みについて説明があった。ステップ1については既に進められているが、今後ステップ2以降の考え方を教えてほしい。

A ステップ1としては、自治単位が同じ3地区【①出雲・今市支店（令和元年7月13日統合）、②塩冶・有原支店、③荒茅・園支店（②③とも令和2年2月22日予定）】の店舗を再編します。ステップ1終了後の店舗再編計画は、実際の収支状況、地元の意見等を踏まえながら、店舗機能の見直しや店舗統廃合を総合的に検討します。





安全・安心届けます
出雲で採れるうまいもん

「神門梨」



生産者インタビュー



J Aしまね神門梨部会
飯塚 裕二さん
多美子さん

今月は下古志町で「神門梨」を栽培するJ Aしまね神門梨部会の飯塚裕二さん、多美子さんご夫婦にお話を伺いました！現在17アールで、品種は「幸水」「豊水」「瑞秋」「新興」「あたご」の5種類。飯塚さんは平成12年に兼業農家として梨の栽培を始め、多美子さんは9年前から、裕二さんは今年8月から専業で栽培されています。

神門梨の栽培について教えてください。

現在収穫時期ですが、収穫が終わるとお礼肥（収穫後に樹勢を回復させるために施肥すること）をします。良い梨を育てるには冬の間の土作りが大切です。うちではくん炭や籾殻なども入れています。剪定作業は11月頃から始め、虫や病気がつかないよう、防除も行います。春先になると、梨の花に花粉をつける人工授粉の作業が始まります。このほか、できるだけ除草剤を使わないようにしているので、草刈りも頑張っています。

以前は兼業農家で時間も限られていたため、作業ができるだけ効率化できるよう考えてやってきました。部会で毎年先進地視察に出かけています

が、他県の取り組みを参考に、平成21年度事業を活用してスプリンクラーを導入しました。散水などの作業の効率化につながっています。

栽培をされていて大変なことは何ですか？

特に手間がかかるのが授粉作業です。栄養を集中させるための摘花でできるだけ花を少なくし、授粉作業の手間を削減するようにしています。また、天気に左右されるのも大変なところです。今年は今のところ順調ですが、昨年は雹害で傷がついたものもありました。

当初は二人とも仕事をしており、分らないことも多く大変でしたが、周りの生産者の皆さんにぜひ手伝ってもらいました。いろいろ教えてもらい感謝しています。

栽培をされていて良かったことは何ですか？

梨オーナーの皆さんの笑顔が見られるのが一番のやりがいです。神門梨はオーナー制での契約販売が主流ですが、長年やっているといういろいろつながりがあります。友達を連れて来てくれる方や、子どもごころに來られた方が大学生になってまた来てくれたこともありました。皆さん楽しみにしてくださっているので、頑張っておいしい梨を作り続けたいと思います。

最後に神門梨のPRをお願いします！

今年は8月からの好天で、これからは特に甘くて大きい梨が収穫できると思います。ぜひ皆さん食べてくださいー！



梨の栄養

梨は90%近くが水分ですが、カリウムやアスパラギン酸を含んでいて、解熱や疲労回復に良いとされています。カリウムが利尿効果を発揮し、火照った体を冷まして熱を下げてくれるほか、梨に含まれる糖アルコールの一種であるソルビトールという成分にも咳止めや解熱効果があるとされています。さらに、カリウムには体内に蓄積されたナトリウムを体外に出す働きがあるため、高血圧を予防する働きも期待できます。また、梨にはタンパク質を分解する消化酵素のプロテアーゼが含まれていません。調理に使用すれば肉を柔らかくする事ができるだけでなく、食後のデザートに梨を食べる事で消化を助けられます。

一般的に皮を剥いで食べる事が多い梨ですが、皮の部分にも栄養が詰まっています。ぜひ皮ごと食べて栄養成分を逃さないように摂取しましょう。

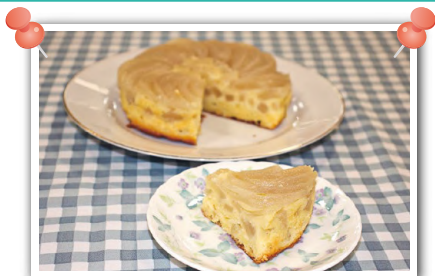
梨の栽培

梨の栽培は、1〜2月の剪定から始まり、4月には約1週間の間で授粉作業を行います。手作業でひとつひとつ花粉付けするため、根気がいりますが、実をつけるための大切な作業です。5月になると摘果作業を行います。授粉した花は実をつけますが、梨を大きくさせるには数を減らさなければいけません。一株に5〜7個ついている実の中から、大きくて形の良いものを1つ選んで残します。その後、病害虫対策を施しながら7、8月には玉太りを良くするため、水かけを入念に行うなど、徹底した栽培管理のもと、安全安心でおいしい梨が作られています。

生産者が心を込めて栽培した、大きくて美味しい神門地区の梨をぜひご賞味ください。

梨の美味しいレシピ

梨ケーキ



〈材料〉[15cm型]

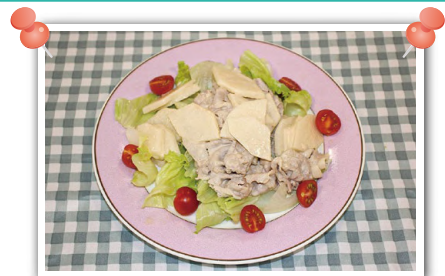
- 梨…………… 2個
- 砂糖…………… 30g
- 白ワイン …… 50cc
- レモン汁 …… 大さじ1

- バター…………… 50g
- 砂糖…………… 50g
- 卵…………… 1個
- 小麦粉…………… 50g
- ベーキングパウダー …… 小さじ1/2

〈作り方〉

- ① 梨1個を薄いくし切りに、もう1個を小さめの角切りにする。
- ② 鍋に①、砂糖、白ワイン、レモン汁を入れ弱火で10分間煮詰める。
- ③ 梨が透明になったら火を止める。
- ④ ボウルにバターと砂糖を入れ良く混ぜ、卵を入れさらに混ぜる。
- ⑤ ④に小麦粉とベーキングパウダーを入れて混ぜ、角切りの梨を入れてさらに混ぜる。
- ⑥ 型に型紙を敷き、くし切りにした梨を隙間無く並べる。
- ⑦ 型に⑥を流し入れ、180度のオーブンで35分焼く。
- ⑧ 冷やして型から取り出したら完成!

梨と豚しゃぶのサラダ



〈材料〉[2人前]

- 梨…………… 1/2個
- 豚ロース薄切り 150g A
- レタス …… 1/2玉
- ミニトマト …… 4個

- 練りごま(白) 大さじ1
- 酢 …… 大さじ1
- 加糖ヨーグルト …… 大さじ1
- マヨネーズ …… 大さじ1
- はちみつ …… 小さじ1
- しょうゆ …… 小さじ1

〈作り方〉

- ① 梨は2mm幅のいちよう切りにし、レタスは食べやすい大きさに、トマトは半分に切る。
- ② 沸騰した湯の中に豚肉を入れ、煮立たない温度で火を通す。
- ③ 肉の色が変わるまで火が通ったらザルに上げ、冷やす。
- ④ Aを混ぜ合わせドレッシングを作る。
- ⑤ ドレッシングの中に梨と豚肉を入れ絡める。
- ⑥ 皿にレタス、⑤、トマトを盛りつけたら完成!

ほっとで楽しいニュースが満載!

「多伎いちじく」出発 販売金額増目指す

多伎いちじく生産部会は8月23日、多伎町の多伎農産物集荷所で令和元年産の出発式を開きました。同町の特産「多伎いちじく」の品種は、強い甘み特徴の「蓬莱柿」です。部会員86人が15・4ヘクタール(うちハウス1・02ヘクタール)で栽培し、今年は生果54トン、加工用70トン、販売金額は前年比14%増の7800万円を計画しています。

今年産は、4月の低温、5月の少雨の影響でやや遅れたものの、その後は順調に生育。昼夜の寒暖差が少なかったため着色が遅れ、平年よりやや遅い初出荷となりましたが、玉太りは順調で、食味の良いいちじくが出荷されています。最盛期は9月上旬で、出荷期間は10月末までを予定しています。式には生産者、行政、JA関係者ら約40人が出席し、市場に向かうトラック便を送り出しました。

立脇渉部会長は「高温で色づきはもう一つだったが、甘さは十分なおいしいいちじくができています。多くの皆さんに食べてもらいたい」と話しました。

「多伎いちじく」の栽培面積は高齢化等で減少傾向ですが、来年3月にはいちじくのリース団地が完成し、Iターン等で2人の生産者が新規栽培を始める予定です。



テープカットでトラックを送り出す関係者ら

食農教育の一環で米づくり 多伎小学校食農教育推進実行委員会

多伎小学校食農教育推進実行委員会は9月8日、多伎町の山本優さんの田んぼで、多伎小学校の児童、保護者を対象とした稲刈り、はで干し体験を行いました。児童と保護者、合わせて17人が参加。地元農家やJA多伎支店の職員らと一緒に5月に植えたコシヒカリを収穫しました。

同委員会は、多伎小学校の児童にふるさとへの愛着と農業への理解を深めてもらおうと、今年4月に小学校、地元農家、JAらを構成員として設立しました。米や野菜などの栽培を体験するとともに、それらを使った学校給食の提供などを通して食農教育を推進していきます。

今回の活動は、5月の田植えに続いて2回目。当日は好天に恵まれ、参加者は水分補給にも気を配りながら、鎌で稲を刈り、はで場に干しました。今後はで場で乾燥させ、11月頃に同校の学校給食で提供する予定にしています。作業終了後にはJA多伎支店から皆さんに粗品を配りJAのPRも行いました。

同委員会事務局の持田守夫さんは「米のほか、特産の『多伎いちじく』など地元の農産物も使い、ふるさと給食として提供できればと考えています」と構想を話しました。



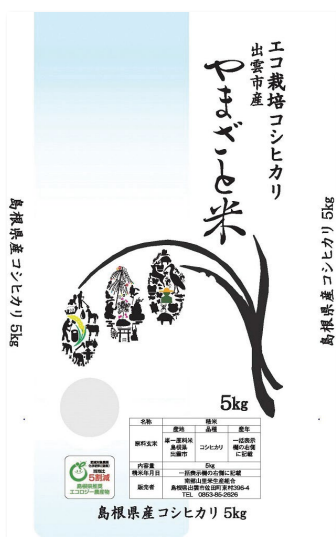
はで場に稲を干す児童ら

エコ栽培コシヒカリ「やまざと米」 パッケージをリニューアル!

南部山里米生産組合は、エコ栽培コシヒカリ「やまざと米」のパッケージをリニューアルしました。島根大学生とのコラボでデザインを一新。8月24日、25日の両日には、ラピタ本店、みなみ店で販売し、生産者が売り場に立ちPRしました。

新パッケージは、島根大学生が作成したデザイン案から、6月に消費者アンケートを実施し選ばれたものです。お米一粒一粒が地域の魅力によって実り、豊潤にたわむ様子が表現されています。

「やまざと米」は主に有機肥料を使用し、農薬の使用量を半分以下にした環境にやさしいお米です。県の「エコロジー農産物」として推奨されています。9月中旬からは、令和元年産の新米の販売が始まりました。噛めば噛むほど豊かな甘みが広がり後を引く「やまざと米」は、ラピタ本店、みなみ店で好評発売中です。



5キロ袋の新パッケージ

出雲農林高校 そば打ち甲子園出場

出雲農林高校の生徒が8月26日、東京都立産業貿易センター台東館で開かれた全国高校生そば打ち選手権大会（そば打ち甲子園）に出場しました。

同大会では、40分の制限時間でそば粉8割・小麦粉2割の「二八そば」1キロを打ち技能を競います。同校は課題研究の一貫でそば打ちに取り組み、大会への出場は5回目。昨年も出場した食品科学科の3年生6人（競技者4人、補助者2人）が団体戦に挑みました。

生徒たちはJAしまね出雲地区本部の職員を講師に練習を重ね、大会前には出雲市役所を訪れ、長岡秀人出雲市長、出雲食戦略会議の田邊達也議長、同地区本部の岡田達文本部長らを前にそば打ちを実演しました。

入賞することはできませんでしたが、2年間学んできた成果を十分に発揮し、「そばどころ出雲」を全国にPRしました。



大会でそばを打つ生徒

多伎いちじく品評会 最優秀賞に山本さん

JAしまね多伎いちじく生産部会は9月6日、多伎いちじく館で令和元年産多伎いちじくの品評会を開きました。昨年は天候不順により中止されたため2年ぶりの開催。行政、市場、JA関係者、同生産部会の部会長ら6人が、着色や玉揃い、糖度などを審査しました。

今年は33点と、例年より多くの出品がありました。最優秀賞の出雲市長賞には同町の山本浩司さんを選出。このほか優秀賞6点と優良賞3点を選びました。表彰式は12月開催予定の「多伎いちじく振興大会」で行います。

審査委員長を務めたJA本店営農指導企画課の林隆明営農技監は「最優秀賞をはじめ、『多伎いちじく』のブランドにふさわしい素晴らしいいちじくが出品された。天候が厳しい中、多数の出品があったのは、日々の管理の表れだと思う」と話しました。



着色や玉揃い、口の開き方などを確認する審査員

令和元年産米 稲刈り始まる

JAしまね出雲地区本部管内で、令和元年産米の稲刈りが始まりました。

8月9日には、伊野地区で32ヘクタールの田んぼを管理する常松守男さんが「ハナエチゼン」を収穫。黄金色に実った稲穂が、コンバインで次々と刈り取られました。

常松さんは「今年も盆に収穫が間に合いました。新米を供えることができます」と話しました。



令和元年産米の稲刈りが始まった

活動をさらに楽しく 「家の光」活用研修会開催

JAしまね出雲地区本部は8月30日、家の光活用研修会を開きました。家の光の活用方法を学び、女性部活動をより楽しく充実したものにしてもらう目的で開催。各支部から約90人の女性部員が参加しました。

研修会には（一社）家の光協会 中国四国普及文化局の前田希美さんを講師に招き、家の光でも多く取り上げられている「SDGs」について学びました。前田さんは、日頃女性部活動として行っていることが、国連が定めた持続可能な開発目標「SDGs」の達成につながっていることを説明。「今後も家の光で関連記事を分かりやすく紹介していくのでぜひ読んでください」と呼びかけました。

また、家の光9月号を活用し「防災手拭いで作る手さげ袋」作りにも挑戦。周りの部員と見せ合いながら、楽しく作り上げました。



「SDGs」を説明する前田さん

山陰ブロック TACパワーアップ大会

J A全農、全農鳥取県本部、J Aしまねは8月19日、ラピタ本店で「令和元年度山陰ブロックTACパワーアップ大会」を開きました。J A職員ら約90人が参加し、J A各地区本部の地域農業の担い手に出向くJ A担当者(愛称TAC=タック)が取り組み事例を発表しました。

出雲地区本部は、タマネギの産地化への取り組みを発表した梶谷慎吾TACと、ドローンを活用したスマート農業の推進について発表した渡部優太TACが特別賞を受賞しました。

受賞者は次の通りです。

▽最優秀賞=片寄俊一(くにびき)▽優秀賞=山田光俊(雲南)▽特別賞=渡部直樹(くにびき)、梶谷慎吾(出雲)、青木雅至(斐川)、久井和徳(雲南)、渡部優太(出雲)



表彰状を掲げる7人の受賞者

「とびす市」で枝豆の販売を体験 出雲市立北陽小学校

出雲市立北陽小学校の児童たちが9月4日、鳶巣地区の直売所「とびす市」で枝豆の販売を体験しました。同校の6年生は今年、総合的な学習の時間で地域の活性化に取り組んでいます。6年2組は直売所での販売体験を通して地域の皆さんと交流し、地域を盛り上げようと考えました。当日は児童34人が店頭立ち、買物に訪れた地域の方に枝豆をPRしました。

枝豆は、J A中部営農センターの職員に教えてもらいながら、5月から学校の畑で育ててきたものです。児童たちは、作物を育てて販売するところまで自分たちの力でやり遂げ、達成感を感じていました。当日交流した地域の方にはアンケートにも協力してもらい、今後の学習につなげていきます。

「とびす市」はJ A鳶巣店横で毎週水曜日に開かれ、

地元産の野菜や鮮魚、菓子、工芸品などを販売しています。地域住民の生活を支えるとともに、住民同士の交流の場ともなっています。



店頭立ち、みんなで枝豆をPRした

J A出雲地区本部 管内で米検査を開始 ハナエチゼンが好スタート

J Aしまね出雲地区本部管内の令和元年産米の初検査が8月23日、岡田町の平田中央倉庫で行われました。同日は7戸から集荷した極早生品種「ハナエチゼン」のフレコン20本、紙袋236袋を検査しました。

初検査には検査員、生産者、J A関係者ら約20人が参加。農産物検査法に基づき、検査員の資格を持ったJ A職員が実施し、等級格付けをしました。

今年は梅雨明けが遅れ、7月は平年より気温が下回る日が多く心配されましたが、その後天候が回復。平年並みの8月9日に刈り取りが始まり、初検査では1等米比率100%と順調なスタートを切りました。

今後は「つや姫」「きぬむすめ」などの収穫が続く、同地区本部管内の今年産米の集荷は6900トンを計画しています。引き続き、1袋でも多くJ Aに出荷いただきますようお願い致します。



令和元年産米の初検査を行う検査員

農作業事故を防ごう J Aしまね出雲地区本部が講習

J Aしまね出雲地区本部は8月22日、23日の両日、同地区本部で農作業安全講習会を開催しました。収穫作業が本格化するにあたり、管内6会場で開催。農業機械を使用する際の注意事項を改めて確認しました。

講習会では、(有)J Aいずも農機サービスの勝部守課長代理がDVDを活用して事故が起きやすい状況を紹介。実際に発生した事例にも当てはめながら、注意すべきポイントを説明しました。

また、J A総合指導課のTACから、水稻の刈り取り時期の目安などについても説明しました。



DVDで説明する勝部課長代理

シャインマスカット最盛期 各地で販売促進



松江エクセルホテル東急にPRに訪れた女性部員



日御碕のイベントに参加するPJメンバー

J Aしまね出雲地区本部管内では、8月上旬頃からシャインマスカットが最盛期を迎え、各地で販売促進が行われました。

8月10日、11日の両日は、J Aしまね出雲ぶどう部会の女性部員がラピタで試食販売を実施。生産者・販売者・消費者が一体となって地産地消を推進する「いずも食材の日」の取り組みの一つとして行いました。

8月25日には、松江市の松江エクセルホテル東急のケーキバイキングで「シャインマスカットフェア」が開催され、ケーキやフルーツサンドイッチなど、多彩なスイーツが来場者を楽しませました。会場入り口では同部会女性部員がレシピ等を配り、県内産シャインマスカットをPR。同女性部の藤江美由紀部長（J Aしまね出雲地区本部理事）は「皆さんが満足して帰っていかれるのを見て、生産者として意欲が出た」と話しました。

8月31日には、日御碕灯台周辺で開かれた「みさきナイトフェスタin SUMMER」で、同部会販売戦略部門の「もっと恋しよ♡縁むすぶどうPJ（プロジェクト）」がシャインマスカット販売とチラシ配布でPR。食べ歩きで気軽にシャインマスカットを楽しんでもらおうと、専用の少量パックを用意し、大変好評でした。同PJリーダーの桑原陽子さんは「県内の方だけでなく、県外から来られた観光客の方や、外国人の方にもシャインマスカットのPRができた。来年も是非参加したい」と話しました。



ラピタで試食販売する女性部員

統一行動「おもてなしプロジェクト」 河南ブロックが収穫物でおもてなし

J Aしまね河南ブロックでは、J Aと女性部員の統一行動「おもてなしプロジェクト」の一環で、支店に来店された組合員・利用者の皆さまに「みどりのカーテン」の収穫物を活用した「おもてなし」を企画しています。

J Aしまね神戸川支店は8月26日、収穫したミニトマトを使ったタルトとゼリーを振舞いました。神門・古志支部の女性部員、J A生活文化協力員の協力で、過去に「家の光」で紹介されていたレシピを活用して作成。70人分を用意し、当日は両支部の女性部員でお客様をおもてなししました。

また、同日J Aしまね神西支店でも、収穫したきゅうりを使った料理を振舞いました。神西支部の女性部員が、もろきゅうや浅漬け、白和え、焼酎漬けなどを用意し、水出し緑茶でお客様をおもてなししました。



神戸川支店の「みどりのカーテン」

J AしまねとJ Aしまね女性部では、今年度の統一行動として「おもてなしプロジェクト」を実施しています。「みどりのカーテン」の設置等、支店美化を中心に、組合員・利用者の皆さまへの「おもてなし」をテーマとした活動を行っています。



神戸川支店はミニトマトを使ったタルトとゼリー



神西支店はきゅうりを使った漬けものなど

JAしまね出雲女性部西部地区 みどりのカーテンで カレーパーティー開催!

JAしまね出雲女性部西部地区は8月27日、みどりのカーテンの収穫物を使ったカレーパーティーを開催しました。みどりのカーテンは今年度の統一行動「おもてなしプロジェクト」の一環で、支店美化を目指し、JA役員、JA女性部が協力して育ててきたものです。当日は同地区各支部の部員ら約30人が、「ふれあいの家大社 あすっこ」で、収穫したゴーヤやモロッコ豆、カボチャなどを調理しました。

今年は、一緒にみどりのカーテンに取り組んだJA各支店の職員と収穫の喜びを分かち合おうと、各支店でのカレーパーティーを企画しました。メインのカレーライスは、ゴーヤをふんだんに使い100食分を用意。ゴーヤの佃煮やモロッコ豆のゴマ和えなども作りました。

同地区の福原テリ子地区長は「一緒に育ててきた支店の皆さんと収穫を祝うことができ嬉しいです」と話しました。



活動紹介

JAしまね出雲やすらぎ会 湖陵支部 「ハンドベルグループ」

代表 野津 加津子 さん



JAしまね出雲やすらぎ会湖陵支部の「ハンドベルグループ」は、今から20年以上前、やすらぎ会が発足したころから活動する歴史あるグループです。メンバーは現在6人。毎月第3、4水曜日にJA湖陵支店会議室に集まり練習しています。

ハンドベル演奏を福祉に役立てるのが活動の目的です。ミニデイサービスや、「みどりの郷湖陵」などの高齢者福祉施設、敬老会のイベントなど、要望に応じて各所で演奏しています。曲は童謡や唱歌など、誰でも知っているポピュラーなものが中心。演歌なども練習しています。

6年前から活動に参加している野津代表は「私が加入した当時、先輩方が一生懸命練習しておられる様子に感動したことを覚えています。高齢者の皆さんに楽しんでいただける演奏ができるよう、引き続きがんばりたいと思います」と話しました。



多伎いちじく館に出品するなど 活発に活動! 多伎支部「やまぶきグループ」

「ふれあいの家多伎 だんだん」で漬物などの加工品づくりに取り組むJAしまね出雲女性部多伎支部の「やまぶきグループ」。多伎いちじく館に出品するほか、多伎の農業まつりや女性部運動会、キララ多伎のイベントで販売するなど、活発に活動しています。

「何が売れるかを考え、いろいろやってみるのが面白い」と話すメンバーの皆さん。出品する商品は、どれも試行錯誤をしながら作った自慢の品です。自家製の野菜を活用し加工品を作るため、農業への参加にもつながっています。加工品のほか、手芸作品を出品することもあります。



「ふれあいの家多伎 だんだん」で活動



8月は「寒干し大根のしょうゆ漬け」などを多伎いちじく館へ出品



手芸作品も制作

『家の光』 愛読者の仲間づくり運動展開中!!

「食と農」「暮らし」「協同」「家族」の

4つのテーマを大切に人・JA・地域の元気づくりを応援します。

『家の光』記事を活用した 女性部活動

JAしまね出雲女性部は、『家の光』記事を活用した取り組みを進めています。8月30日に開催した家の光活用研修会では、SDGsの説明や



手さげ袋作りに挑戦する女性部員ら

「防災手拭いで作る手さげ袋」作りに挑戦しました。『家の光』記事を参考にした料理教室や手芸教室も開催しているので、気軽にご参加ください。

『家の光』とは?



家の光10月号

『家の光』は、“協同のこころ”を家庭ではぐくむ雑誌として、大正14年に創刊されました。女性はもちろん、家族みんなで楽しく読める総合家庭雑誌です。読者参加の誌面づくりを大事にし、感動読み物、時事問題や料理、健康、子育て、高齢者介護や農業、家庭園芸など「得する、役に立つ、元気になる」記事を満載しています。

この機会にぜひご購読を!

お得な前納年間予約購読をお勧めしています。

お申し込み・お問い合わせは、JAしまね出雲地区本部各支店まで

前納年間予約購読期間 2019年12月号～2020年11月号(12か月前納)

誌名	年間誌代	前納割引	前納年間誌代
家の光	9,411円	629円	8,782円

※前納年間予約購読は1ヵ月分が無料になります。



『家の光』定価(税込)／普通月号629円 付録月号(1・4・5・7・9月号)922円、第1・第2別冊付録付き12月号1,027円
※消費税率変更にとまない、2019年12月号より定価改定いたします。



8月講座

「世界に一つ!をその手から親子で創る 陶芸実習」



ろくろなども使いながら各々自由に制作

JAしまね出雲地区本部は8月9日、同地区本部で、いずもJA女子大学の8月講座「世界に一つ!をその手から 親子で創る 陶芸実習」を開きました。夏休み期間ということで親子での参加も受け付け、親子5組を含む21人が参加しました。

講師は出雲北山窯の山崎善治さん。土の伸ばし方や制作時の注意などについて教わった後、各自制作を開始しました。山崎さんは、ろくろの使い方や器の厚さなど、個別にアドバイスはするものの、原則作品には手を出さない方針です。「自分で作ったものはいつまでも大切にします。自分で作ることが大事」と呼びかけました。



子どもたちも先生に教わりながら自分の力で作り上げた

女子大学生たちは、自分や家族が使うところを思い描きながら、茶碗や皿など使い勝手のよさそうな作品を作り上げました。子どもたちも、お母さんの手を借りずに自分たちの力だけで制作。一生懸命土を伸ばして作った皿に絵を描き、世界に一つだけの作品を作り上げました。作品は、出雲北山窯で高台を削るなど調整した後に焼き上げ、概ね1ヶ月半～2ヶ月ほどで完成する予定です。

参加した女子大学生は「先生の指導が分かりやすく楽しかった」「出来上がりが楽しみ」と感想を話しました。



個性が生かされた作品の数々

輝け!
いずもスマイル

下横町にお住まいの天野さんご夫婦。勲さんは「園地区環境を守る会」で現在会長を務め、農道の草刈りをはじめ、用排水の補修等、環境保全に努めています。恵美子さんは女性部の役員を務め、支部活動などに積極的参加しています。また、みんなが楽しめるカラオケサークルを立ち上げたり、最近からはパッチワークなどの女性部グループにも携わったりと、仲間の輪を広げています。

勲さんがライフワークとしているのが書道です。20代の頃、囲碁・将棋の仲間から誘われたのがきっかけで、以来、書を志し46年。現在書道塾を開くほか、出雲、雲南など数ヶ所の教室で指導しています。勲さんは、「一期一会。本当に何気ない出会で、人生が大きく変わりました」と当時を振り返ります。

60年に一度の出雲大社の大遷宮に際しては数々の揮毫を依頼され、これを機に、平成26年にラビタで個展を開きました。

また、20年前から長浜小学校の3年生以上の児童一人ひとりに書初めのお手本を書き、指導は恵美子さんと共に長年ご夫婦で取り組んでいます。さらに、卒業生には「感

出雲市下横町

天野 勲さん (75歳)
恵美子さん (74歳)



謝」「誠意」等々の思いを込めた言葉を書いて人生訓として贈り、10年にわたって続けています。

「園地区環境を守る会」でも、そばの収穫祭で地元保育園の園児と交流をするなど積極的に活動するお二人。地域の未来を担う次世代層とのふれあいを大切にしています。

あなたの俳句・川柳を募集します

◆応募方法
俳句または川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を記入の上、ハガキまたはFAXでご応募ください。
※10月号掲載分の川柳の応募メ切りは9月30日必着です。
※11月号掲載分の俳句の応募メ切りは10月31日必着です。
※お一人様それぞれ3句までご応募いただけます。

◆おて先
〒693-8585 出雲市今市町106-11
JAしまね出雲地区本部「俳句の広場」係または「川柳の広場」係 (FAX: 211-6249)
※応募作品は自作で未発表のものに限ります。
※応募作品の一切の権利は、JAしまね出雲地区本部に帰属するものとします。
※月間最優秀賞にはUFJニコス券3,000円分、月間優秀賞にはUFJニコス券1,000円分を進呈いたします。
※受賞作品については地区名、氏名(または雅号)を掲載します。

- ◆月間優秀賞
お土産に椎の実ひとつ忍ばせて
東園町 加地 良子
- 西瓜切り夫の庭師をいたはれり
東園町 竹田 喜久子
- 漁火の真っ只中へ流れ星
松寄下町 藤江 亮

選者評
蚊の多い牛舎の様子が目に浮かび、産月の牛へのいたわりが感じられます。

◆月間最優秀賞
産月の牛に蚊遣りを焚きにけり
下古志町 大内 政江

選者
安食彰彦先生

俳句の広場

●「ちびっこ農業交流スクール」子どもたちがイキイキとしていいですね。いつも食べている野菜などがどうやって出来るか知るのも大切だと思います。わが家の孫はまだ行けませんが、大きく

JA：保存できるように加工したいちじくもおいしいですが、生のいちじくを見ると季節を感じます！多伎いちじくの出荷は10月末ごろまでとのこと。シーズン中にたくさん食べたいですね。

(東福町 F・Eさん)

●いちじくが大好きです。この季節を待っていました！今までは去年ワインで煮て、冷凍したものを食べてしのいでいました。

おたより広場

読者のページ

読者のみなさんからの投稿コーナーです。最近あった「楽しかったこと」「最近思うこと」「感動したこと」…ぜひお聞かせください。写真や絵手紙・イラストも大募集！！

おたより大募集

皆さまからの「おたより」を募集しております。八ガキに、聞いて欲しいこと、日々思うこと、俳句や川柳、絵手紙や写真などのご投稿お待ちしております。

(匿名希望の方は明記してください)

あて先 〒693-8585
出雲市今市町106番地1
JAしまね出雲地区本部内
「広報誌JAしまねびより」編集係 宛
メールでの投稿也大歓迎!
izumokouhou.izm@ja-shimane.gr.jp

JA：レシピを活用していただきありがとうございます！「出雲で採れるうまいもん」のコーナーは、ケーブルテレビ番組「JAいずもびより」と連携していますので、両方見るとより楽しんでいただけます！

(佐田町 M・Hさん)

●先月のレシピのメロンタルト、娘にサノオメロンをプレゼントしたら孫たちと作り、とてもおいしかったそうです。我が家でケーブルテレビを見て、作り方も覚えやすかったと好評でした。

協力いただいた農家の皆様、女性部の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございます。

体験に向き合っていました。ご

JA：初めての経験がたくさん詰まった、充実した2日間だったと思います。みんなとても真剣の一つひとつの

なったら参加できるといいです。
(稲岡町 N・Yさん)

ATM廃止のお知らせ

JAしまねでは、以下のATMについて、令和元年9月30日(月)をもって廃止することいたしましたので、お知らせいたします。永らくのご利用ありがとうございました。

— 廃止ATM —

所原

出雲市所原町1642-2

最終稼働日 令和元年 9月30日(月) 8:45~19:00

最寄りのATM 朝山支店(出雲市朝山町193-1)

鐘築

出雲市稗原町2137-4

最終稼働日 令和元年 9月30日(月) 8:45~17:00

最寄りのATM 稗原支店(出雲市稗原町2800-2)

みどりの郷大社

出雲市大社町北荒木483

最終稼働日 令和元年 9月30日(月) 8:45~19:00

最寄りのATM 荒木支店(出雲市大社町北荒木1174-1)

職員人事異動

経営機構順

令和元年9月1日付

氏名

新任

旧任

本店

福田 尚夫	本店営業対策部長	(河南営業センター長)
福田 英治	本店経済部生活課長補佐	(生活部葬祭センターマネージャー)
森山 諒	本店金融部為替課	(営業部生産資材課)
白石 浩嗣	本店監査部次長	(中部ブロック塩治支店長)

営農部

岡野 祥彦	営業部営農企画課長兼 JA主導型農業法人推進室長	(営業部JA主導型農業法人推進室長)
石飛 創太	営業部JA主導型農業法人推進室	(中部ブロック塩治支店)
土江 俊之	営業部営農企画課係長	(本店経済部生活課)
竹下 茜	営業部営農企画課	(河南ブロック多伎支店)
大國 洋二	営業部販売開発課	(東部営業センター)
原田 透	営業部総合指導課長	(営業部営農企画課長)
今岡 尚樹	営業部総合指導課特産係長兼営業指導員 兼GAP推進リーダー	(営業部総合指導課係長兼営業指導員)
野中 一敏	営業部総合指導課営業指導員	(河南営業センター営業相談員)
北村 憲紘	営業部畜産課	(企画総務部付)
大野 康児	営業部生産資材課グリーンセンター出雲	(営業部生産資材課グリーンセンター南)
小玉 千津子	営業部生産資材課グリーンセンター出雲	(西部営業センターグリーンセンター大社)
福田 一樹	営業部生産資材課グリーンセンター南	(営業部生産資材課)

自動車燃料部

金山 信也	自動車燃料部ガスセンター係長	(企画総務部付…(南)アグリマート出向)
神田 茂己	自動車燃料部石油課係長	(営業部営農企画課係長)
原 純	自動車燃料部石油課白枝給油所	(自動車燃料部石油課浜山給油所)
松本 美栄	自動車燃料部石油課白枝給油所	(自動車燃料部石油課南給油所)
神田 智	自動車燃料部石油課南給油所	(自動車燃料部石油課平田給油所)
米山 絃明	自動車燃料部石油課佐田給油所	(自動車燃料部石油課多伎給油所)

生活部

門石 武	自動車燃料部石油課多伎給油所	(自動車燃料部石油課佐田給油所)
安達 幸子	自動車燃料部自動車課	(企画総務部企画管理課)
鳥屋尾 貴之	生活部店舗企画課マネージャー	(生活部ラビタはまやま店長)
遊木 雅子	生活部店舗管理課長	(本店監査部次長)
成相 誠	生活部店舗管理課マネージャー	(生活部ラビタ多伎店長)
藤原 桃子	生活部店舗管理課付	(生活部ラビタ佐田店)
田中 克己	生活部ラビタ本店食品販売課チーフ	(生活部ラビタみなみ店チーフ)
伊藤 広幸	生活部ラビタ本店食品販売課チーフ	(生活部ラビタ多伎店チーフ)
布野 良宜	生活部ラビタ本店食品販売課サブチーフ	(生活部ラビタ本店食品販売課)
古山 貴章	生活部ラビタ本店食品販売課	(生活部店舗管理課)
曾田 幸美	生活部ラビタ本店食品販売課	(企画総務部付)
古山 幸司	生活部ラビタ本店食品販売課	(生活部ラビタ佐田店)
石川 達也	生活部ラビタ本店食品販売課	(企画総務部付…(南)アグリマート出向)
高瀬 由理	生活部ラビタ本店生活課サブチーフ	(生活課ラビタ本店生活課)
池田 貴史	生活部ラビタはまやま店長	(生活部店舗企画課チーフ)
松島 恵利子	生活部ラビタはまやま店	(生活部ラビタ本店食品販売課)
藤江 大輔	生活部ラビタみなみ店チーフ	(生活部ラビタ本店食品販売課)
和泉 里子	生活部ラビタみなみ店	(生活部ラビタ佐田店)
金築 稔	生活部ラビタひらた店サブチーフ	(南アグリマート)
福代 拓也	生活部ラビタ佐田店	(生活部ラビタ本店食品販売課)
伊藤 由美	生活部ラビタ佐田店	(生活部ラビタみなみ店)
佐藤 由利	生活部ラビタ佐田店	(生活課ラビタ本店生活課)
倉橋 幸子	生活部ラビタ多伎店長	(生活部店舗管理課マネージャー)
井上 勲	生活部ラビタ多伎店チーフ	(生活部ラビタ本店食品販売課サブチーフ)
藤原 美香子	生活部ラビタ多伎店サブチーフ	(生活部ラビタはまやま店サブチーフ)
佐藤 孝行	生活部葬祭センター係長	(企画総務部総務課係長)

企画総務部

宮城 賢太郎	企画総務部企画管理課	(本店総務部付…(南)アグリマート出向)
土江 花奈	企画総務部企画管理課	(自動車燃料部自動車課)
安田 清司	企画総務部総務課係長	(企画総務部企画管理課)
福島 啓介	企画総務部情報システム課係長	(生活部店舗企画課係長)
白築 明子	企画総務部ふれあい福祉課長	(中部ブロック四路支店次長)
荒木 秀継	企画総務部事務センターチーフ	(企画総務部事務センター)

古川 浩	企画総務部事務センター (新規採用)
板倉 一弘	企画総務部付…高根農協共同組合 (企画総務部付)
影山 卓也	企画総務部付…(南)アグリマート出向 (生活部店舗管理課長)
佐野 泰司	企画総務部付…(南)アグリマート出向 (生活部ラピタ本店生花販売課)
出雲支店	
森山 絢加	出雲支店貯金課 (企画総務部付)
漆谷 俊一	出雲支店融資課 (南部ブロック佐田支店)
中部ブロック	
神谷 里志	中部ブロック大津支店長代理兼共済係長 (中部ブロック川跡支店共済係長兼生活指導係)
天喰 智徳	中部ブロック大津支店金融係長 (河南ブロック多伎支店長代理兼金融係長)
土尾 由佳	中部ブロック大津支店 (中部ブロック川跡支店)
北村 勝	中部ブロック塩冶支店長 (中部ブロック川跡支店)
水師 香菜	中部ブロック塩冶支店 (企画総務部付)
太田 修一	中部ブロック四絡支店次長 (東部ブロック平田中央支店次長)
河原 修	中部ブロック川跡支店長 (企画総務部ふれあい福祉課長)
岡 理恵	中部ブロック川跡支店共済係長 (東部ブロック平田中央支店共済係長)
片伊勢 智美	中部ブロック川跡支店 (西部ブロック荒木支店窓口チーフ)
石飛利 恵子	中部ブロック川跡支店 (南部ブロック佐田支店)
東部営業センター	
河瀬 浩隆	東部営業センター長代理兼係長兼 GAP推進リーダー (東部営業センター営業相談員)
日下 朋子	東部営業センター (西部営業センター)
福島 隆由	東部営業センター (営業部販売開発課)
東部ブロック	
田辺 幸広	東部ブロック平田中央支店次長 (出雲支店融資課法人担当係長)
田中 敦子	東部ブロック平田中央支店共済係長 (東部ブロック西田支店共済係長)
川島 慎哉	東部ブロック西田支店長代理兼金融共済係長 (東部ブロック西田支店長代理兼金融係長)
西部営業センター	
廣戸 一也	西部営業センター営業相談員 (営業部畜産課営業指導員)
尾原 美沙	西部営業センター (営業部営業企画課)
大塚久 美子	西部営業センターグリーンセンター大社 (営業部生産資材課グリーンセンター出窓)
西部ブロック	
石川 健二	西部ブロック高松支店共済係長 (企画総務部情報システム課係長)

日野 明子	西部ブロック鶴鷺店 (出雲支店貯金課)
金森 淳也	西部ブロック荒木支店長代理兼金融係長 (中部ブロック大津支店長代理兼金融係長)
神田 圭司	西部ブロック荒木支店窓口チーフ (西部ブロック荒木支店)
北澤 智子	西部ブロック荒木支店 (本店共済部自動車共済課)
根宜 加奈子	西部ブロック遙垣支店 (中部ブロック大津支店)
河南営業センター	
矢田 満	河南営業センター長 (営業部総合指導課長)
小村 洋平	河南営業センター係長兼営業相談員 (南部営業センター長代理兼係長兼 GAP推進リーダー)
河南ブロック	
田中 芳美	河南ブロック神西支店 (南部ブロック神原支店)
渡部 良治	河南ブロック多伎支店長代理兼金融係長 (西部ブロック荒木支店長代理兼金融係長)
落合 結依	河南ブロック多伎支店 (出雲支店貯金課)
南部営業センター	
落合 稔	南部営業センター長代理兼係長兼 GAP推進リーダー (西部営業センター営業相談員)
南部ブロック	
大賀美 麻貴	南部ブロック朝山支店 (西部ブロック遙垣支店)
板垣 茜	南部ブロック神原支店 (企画総務部付)
下田 直矢	南部ブロック佐田支店 (西部ブロック高松支店共済係長兼生活指導係)
織田 陽子	南部ブロック佐田支店 (河南ブロック神西支店)

退職者 (令和元年8月31日付)

氏名	旧任
福庭 茂雄	東部営業センター長代理兼係長兼GAP推進リーダー
今岡 浩	営業部総合指導課営業指導員
小池 修	生活部ラピタ本店生活課長(定期職員として再雇用)
細山 哲人	企画総務部付
河原 彰	自動車燃料部石油課白枝給油所
加田 るみ子	生活部ラピタ多伎店
高木 憲兒	企画総務部事務センターチーフ
長島 あずさ	中部ブロック川跡支店
田中 順子	西部ブロック鶴鷺店

JAしまね出雲地区本部 営農部門職員業務用携帯番号表

令和元年9月1日現在

営農センター・課	氏名	番号	役職
中部営農センター 31-9055 センター長 山根 泰成	井上 博行	080-2914-8437	センター長代理兼係長兼GAP推進リーダー
	河上 晃	080-2914-8436	営農相談員
	梶谷 宏樹	080-2914-8439	営農相談員
	春日 慎也	080-2914-8438	
	渡部 浩一	080-2914-8447	
東部営農センター 62-9059 センター長 飯塚 修治	河瀬 浩隆	080-2914-8443	センター長代理兼係長兼GAP推進リーダー
	常松 靖行	080-2914-8445	係長兼営農相談員
	須田 有香	090-4696-5034	営農相談員
	榎原 光	080-2914-8448	
	金山 智香	080-2914-8446	
	吉井 大	080-2914-8461	
	常松 栞奈	090-4652-7500	
西部営農センター 53-2168 センター長 石飛 英彦	井上 春樹	080-2914-8444	センター長代理兼係長兼GAP推進リーダー
	廣戸 一也	080-2914-8454	営農相談員
	多久和 修	080-2914-8457	営農相談員
	小村 晃	080-2914-8455	営農相談員
	高橋 将大	080-2914-8452	営農相談員
	遠藤 優太	080-2914-8451	
	尾原 美沙	080-2914-8456	
河南営農センター 43-7007 センター長 矢田 満	多久和雄輔	080-2914-8476	センター長代理兼係長兼GAP推進リーダー
	小村 洋平	080-2914-8463	係長兼営農相談員
	小川 陽子	080-2914-8462	営農相談員
	伊藤 裕海	080-2914-8459	営農相談員
	三島 和輝	080-2914-8460	
南部営農センター 84-0213 センター長 原 崇	落合 稔	080-2914-8467	センター長代理兼係長兼GAP推進リーダー
	今岡 翔哉	080-2914-8469	営農相談員
	安食 寿久	080-2914-8470	営農相談員
	高橋 恵子	080-2914-8466	営農相談員
	渡部 麻未	080-2914-8468	営農相談員
	原 友莉恵	080-2914-8465	
総合指導課 21-6038 課長 原田 透	阿式 秀典	080-2914-8472	農産係長兼営農指導員
	今岡 尚樹	080-2914-8474	特産係長兼営農指導員兼GAP推進リーダー
	大野 真司	080-2914-8453	営農指導員
	野中 一敏	080-2914-8475	営農指導員
	永井 裕二	080-2914-8440	営農渉外員(中部ブロック)
	梶谷 慎吾	080-2914-8449	営農渉外員(東部ブロック)
	渡部 優太	080-2914-8458	営農渉外員(西部ブロック)
	景山 敦	080-2914-8464	営農渉外員(河南ブロック)
	久谷 憲司	080-2914-8471	営農渉外員(南部ブロック)
畜産課 21-6043 課長 和田 賀成	岩崎 佳恵	080-2901-5120	係長兼営農指導員
	北村 憲紘	080-2901-5116	
	加田 芳久	080-2901-5118	営農指導員
	落合 芳成	080-2901-5117	営農指導員
	浅津 遼	080-2901-5119	営農指導員
販売開発課 21-6118 課長 園山 啓治	園山 啓治	090-3170-1570	課長
	西尾 一俊	090-7970-8486	係長
	廣戸 大訓	080-2914-2696	
	原田恵梨子	090-3375-1543	
生産資材課 21-6047 課長 佐田尾 豊	佐藤 真吾	080-2946-1296	

健康ライフかわら版

9月10日～16日は自死予防週間です！

出雲圏域における自死者数は、毎年20人前後です。特に40～60代の働き盛り世代の自死者数が多く、男性は女性の約2倍となっています。

自死の要因は、健康問題や経済・生活問題と様々ですが、特にうつ病との関連が大きいと言われています。

まずは、自分の心の不調に気づくことが重要です。右の表で自己チェックをしてみましょう。うつ病の可能性がある場合は、早めにかかりつけ医や精神科医療機関、保健所へご相談ください。

また、悩みを抱え、自死を考えている人は何らかのサインを発していることが多いといわれます。周りの人は、悩んでいることに気付いたら、声をかけ、まずはしっかり話を聴きましょう。

出雲圏域の自死者数の推移

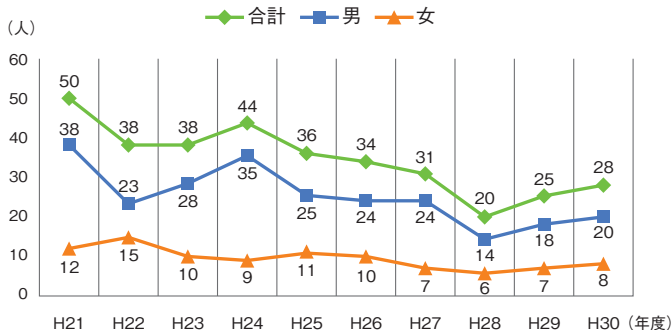


表 うつ病の自己チェック

最近(ここ2週間ほど)こんなことが続いていませんか？

1. 毎日のように、憂うつな気分または沈んだ気持ちがある。
2. 何事にも興味がわかない。いつも楽しめていたことが楽しめない。

この項目が一つでも当てはまる方は医師に相談して下さい。その他、以下のような症状が毎日のようにある場合には医師に伝えましょう。

3. 食欲の低下または上昇、あるいは体重の増減がある。
4. 睡眠の悩みがある(寝付きが悪い、真夜中や早朝に目が覚める。寝過ぎる)。
5. 話し方や動作が鈍くなる。イライラしたり落ち着きがない。
6. 疲れを感じたり、気力がわかない。
7. 「自分は価値のない人間だ」「悪いことをした」などと感じる。
8. 仕事でもプライベートでも、集中したり決断したりすることが難しい。
9. 「死んだ方がましだ」「生きていたくない」等と考える。

1,2のどちらかが「○」で、さらに1～9で5つ以上「○」のときうつ病の可能性があります。

～出雲保健所の心の健康相談～

- 1 精神科医による心の健康相談(要予約)
日時: 原則毎月第1・第3水曜日 13:00～14:30
- 2 酒がい相談員によるお酒の困り事相談(要予約)
日時: 原則毎月第2水曜日 9:00～11:00
- 3 保健師による相談(随時)
※事前にご連絡ください

お問い合わせ先 出雲保健所心の健康支援課 ☎21-1653

令和元年度 LPガス設備調査点検のお知らせ

平素よりJA LPガスをご利用いただき、ありがとうございます。

JAしまね出雲地区本部ガスセンターでは、4年以内に1度、法令に基づいた消費設備の点検・調査を行っております。

下記の予定で、調査の委託をしている島根県中央LPガス保安センター協同組合の職員が伺いますので、ご理解・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

月	地 区
10月	平田地区 上塩冶地区
11月	平田地区 上塩冶地区 小伊津地区
12月	平田地区 小伊津地区

LPガス設備調査点検とは

供給設備・消費設備のガス漏れの有無などの点検を行うことです。

4年以内に1回、安全のために実施することが法律で義務付けられています。

尚、この点検・調査は無料です。料金が発生することはございません。





出雲市農政会議だより

令和元年9月21日

発行元：出雲市農政会議(出雲市今市町106番地1 JALしまね出雲地区本部 営農企画課内)

発行責任者：事務局長 岡野 祥彦

No.86

【活動内容報告】

○出雲市農政懇談会の開催

8月9日、令和元年度出雲市農政懇談会をラピタ本店で開催しました。当日は、出雲市農政会議、出雲市議会農政議員連盟、JAしまね出雲地区本部から、総勢105名が参加しました。懇談会は安達会長の挨拶で始まり、農政会議各支部および各生産部会等からの要望事項を、『令和2年度出雲市農業振興施策確立に関する要望事項』として9項目にまとめ、各項目に対する現状の問題点の報告や要望に対する思いなど熱心な意見交換を行いました。

また、農政懇談会にあわせ、事前研修として産業開発機構(株)スマート農業360編集部の中栗裕規氏より「スマート農業の普及展望について」と題した講演を実施しました。参加者は先進技術の活用による農業生産の拡大や省力化等について、理解を深めるため熱心に耳を傾けていました。



○出雲市農業振興施策確立に関する要望・陳情の実施

8月22日、出雲市農政懇談会で頂いた意見をふまえ、「出雲市農業振興施策確立に関する要望事項」を出雲市長へ要望、出雲市議会へ陳情しました。要望事項については、以下のとおりです。

1. 農業情勢への的確な対応について
 - (1) 貿易交渉に係る適切な対応について
 - (2) 農家経営の安定化について
2. 担い手確保・育成に向けた支援の強化について
3. 水田園芸の産地化支援について
4. 耕作放棄地対策について
5. 国営緊急農地再編整備事業(宍道湖西岸地区)について
6. 農業用廃棄ビニール処理について
7. 農作業環境の改善について
 - (1) 官地等における出穂前の適時除草作業の実施について
 - (2) 農業用排水路等の補修・改修について
 - (3) 農業用道路の整備について
8. 小規模農家への支援拡充について
9. 中山間地域に対する重点施策の実施について
 - (1) 環境保全支援(草刈・藪切)について
 - (2) 有害鳥獣対策について



 JALしまね出雲地区本部

休日ローン相談会

9月29日(日) 9:00~15:00

ローンに関するご相談をいただいた方には

**「よりぞうトートバッグ」を
プレゼントします!**

※品切れの場合は他の粗品に変えさせていただきます。

「JAとの
お取引はこれから」
というお客様もお気軽に
ご来店
ください!

休日ローン相談会 開催会場

事前にご予約いただきますと、待ち時間なくスムーズにご相談いただけます。

出雲支店 TEL 21-6031

高松支店 TEL 21-0610

大津支店 TEL 21-0860

出雲地区本部理事会報告

8月21日に開催された出雲地区本部理事会の中で協議された主な議題と内容は次の通りです。

〈報告事項〉

(1)出雲市農業振興施策確立に関する要望について

(2)令和元年度ピアガーデン利用実績について

(3)大口貸出先の決算報告について

(4)大口貸出金の報告について

(5)自動車共済Web約款選択率向上運動の展開について

自動車共済の「ご契約のしおり・約款」について、今まで冊子で交付をしておりましたが、パソコンやスマートフォン等でいつでも閲覧できる「WEB約款」をお勧めする運動を展開します。ご理解・ご協力をお願いいたします。

(6)地区別組合員大会の意見・要望について

各地区で開催いたしました組合員大会では、皆様より貴重なご意見を頂戴しております。頂戴しましたご意見・ご要望は今後の事業に反映していきます。

(7)第1四半期の事業取扱並びに収支実績について

(8)令和元年7月末事業実績について

(8)令和元年度「家の光」長期愛読者拡大運動(案)について

令和元年8月17日~10月31日までの間、長期愛読者拡大運動を展開します。是非この機会にご購読をお願いいたします。

酸性土を矯正し、排水を良くする ホウレンソウ

あなたもチャレンジ! 家庭菜園

園芸研究家 ● 成松次郎

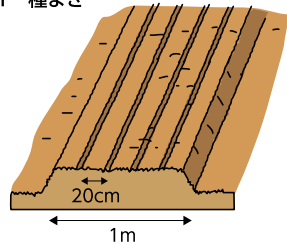
ビタミンやミネラルを豊富に含む緑黄色野菜で、特に日本人に不足しがちなビタミンB群や、造血作用に関係する葉酸、そして鉄分とカリウムが多いのが特徴です。生育の適温は、15～20度で冷涼な気候を好み、耐寒性は強いが暑さには弱く、25度以上になると生育が衰えます。関東以西の地域では、夏取り以外は栽培できますが、冬取りの栄養価が高く、甘味も増し最もおいしい季節です。

【品種】 秋取りは生育の良い「アトラス」（サカタのタネ）、「オーライ」（タキイ種苗）、「ハンター」（カネコ種苗）など、冬取りは寒さに強い「ソロモン」（サカタのタネ）、「トライ」（タキイ種苗）などが良いでしょう。

【畑の準備】 ホウレンソウは酸性土を嫌うため、事前に1平方m当たり苦土石灰150gを畑全体に散布して、よく耕しておきます。次に、幅1mの広幅の栽培床を作り、1平方m当たり化成肥料（N-P-K=10-10-10）150gと堆肥2kgを土とよく混和しておきます。

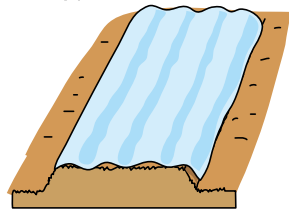
【種まき】 適期は9～10月。栽培床は平らにならし、条間20cm、深さ1～2cm程度のまき溝を切り、まき溝を板切れを立てて平らな溝に仕上げ、1cm間隔に種をまきます（図1）。1cmほど覆土し、たっぷり灌（かん）水します。そして、風雨や害虫

図1 種まき



土を軽く盛り上げて幅1mの栽培床を作る。板切れなどで幅2cm、深さ1～2cmの種まき溝を付け、1cm間隔に種まきする

図2 べた掛け



風雨や害虫から守るために、不織布をべた掛ける

から幼苗を守るため不織布をべた掛けします（図2）。

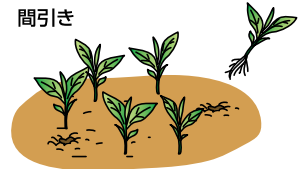
【管理】 1回目は発芽そろい時に込み合っている所の株を抜き取り、その後、2～3回に分けて最終的に株間を4～5cmにします（図3）。栽培期間が長い10～11月まきでは、草丈10～15cmのころ、1平方m当たり30gを追肥し、株元に軽く土寄せします（図4）。

【病害虫の防除】 ヨトウムシは見つけ次第、捕殺し、アブラムシには、気門閉鎖剤（商品名：粘着くん液剤）などで防除できますが、不織布をべた掛けして飛来を予防すると良いでしょう。

【収穫】 草丈が25cmくらいを収穫の目安にしますが、30cm程度になってもホウレンソウ本来のおいしさは変わりません。株元の根を鎌やはさみで切り取ります。直売所などに出荷する場合は、枯れ葉を除いて300gくらいに束ねます。

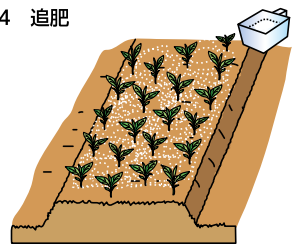
※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

図3 間引き



発芽そろいの後、密生部を間引く。その後2～3回に分けて間引き最終的に1本立てにする

図4 追肥



草丈10～15cmのとき、化成肥料を条間にまき、移植などで土寄せする

理事会情報（7月30日開催）

【協議事項】

- ①令和元年9月1日付け機構改革の実施について
- ②令和2年2月22日付け機構改革の実施について
- ③JAしまねにおける営農・経済事業改革に向けた取組について
- ④「令和2年度島根県農業政策および予算に関する要望」について（第2次案）
- ⑤令和元年度補助事業の実施について
- ⑥令和元年度島根米の諸条件の設定について

- ⑦簡易ガス事業における保安規程の一部改正について
- ⑧信用事業方法書（為替取引）の改正について
- ⑨信用手数料の改定について
- ⑩長浜支店にかかる土地および建物の取得について
- ⑪組合と理事との取引（契約）の承認について
- ⑫系統団体および関連団体等への常勤役員の就任について
- ⑬平成30年度期末決算監事監査報告書における整備改善を要する事項（個別意見書）への回答について

（紙幅の関係上、報告事項は省略いたします）

農業者年金基金からのお知らせ

農業者年金で安心・豊かな老後を

～農業者の老後は国民年金だけでは不安です～

◎農業に従事する方の老後の安心に役立ちます。

国民年金 + 農業者年金

◎保険料はいつでも変更できます。

月々2万円から6万7千円まで

◎こんな方が加入できます。

- ①国民年金第1号被保険者
- ②年間60日以上農業に従事
- ③20歳以上60歳未満の方

◎支払った保険料は全額社会保険料控除となり、

所得税や住民税等の節税になります。

◎積立方式だから自分がかけた金額は年金として生涯もらえます。

(仮に80歳前に亡くなった場合でも、死亡一時金が遺族に支給されます。)

◎政策支援(保険料の国庫補助)が受けられます。

例: 認定農業者で青色申告者等
35歳未満の人は10,000円(5割)補助

独立行政法人農業者年金基金

専門相談員 TEL.03-3502-3199

企画調整室 TEL.03-3502-3942

農業者年金の内容やご相談については、最寄りの農業委員会やJAしまね各地区本部または農業者年金基金にお問い合わせください。

楽しい、おいしいがいっぱい!!
年に一度の大イベント!



ワインまつり

10/19(土) 10:00~17:00
10/20(日) 9:00~16:00

2019ぶどう収穫感謝祭 SHIMANE WINERY

ワインまつり特別
BBQ

2日間先着
計1,500食限定

バーベキュー
特別価格
一人前 **500円** (税込)

- 島根和牛
- 豚肉
- おにぎり
- 野菜のセット
- ソフトドリンク
飲み放題



詳しくは島根ワイナリーまで

※写真はイメージです。※バーベキューハース(シャトー弥山)は10時30分から18時30分まで

10/19(土)

★中庭 出雲農林高校
「ふれあい動物園」がやってくる!!
出雲商業高校ダンス同好会
石見神楽(大尾谷社中)
出雲農林高校太鼓部

10/20(日)

カミアリージャーショー
フォーゲルパークバードショー
大社高校吹奏楽部
石見神楽(下原西組神楽社中)

10/19(土)・20(日)

被災地応援チャリティ
2日間開催
ビンゴ大会
各回先着200枚 **1枚100円**
限定品
蔵出しワイン
試飲即売会

ミニ縁日

キャラクター&スーパーボール
すくい・輪投げ・射的など



買物特典
大抽選会

期間中、島根ワイナリーでの
お買物3,000円で
1回抽選できます。



テント市

地元のおいしいものや、
アクセサリー、
寄植など



青空市

青果物・海産物・
農畜産物など出店



*天候・諸事情によりイベントの内容、時間を変更または中止とする場合がありますので予めご了承ください。*お酒は20歳になってから。*飲酒運転は法律で禁止されています。

島根ワイナリー
島根県出雲市大社町夢根264-2
TEL 0853-53-5577

2019年 サマージャンボ

ラピタ本店
宝くじ売場から
出ました!!

大当たり!

1等

前後賞合わせて

億円

ラピタ本店2階 衣料品売場が

リニューアル

オープン!

ラピタ本店2階 衣料品売場が
一部新しくなりました!!

レディースコーナー
レディースの新しいブランド

EGLANLINE®
- エグランティナー -



ラピタ本店

ラピタベーカリー
リニューアル
オープン!

全商品総入替して

皆様のご来店をお待ち致しております。



ラピタベーカリー OPEN/9:30~

Tel. 0853-31-9110 島根県出雲市今市町87番地ラピタ本店1F

9月末日まで開催!

営業時間 PM5:30~PM9:00
会場 ラピタ本店屋上

うれしい低価格!!

男性	3,300円 <small>(税込)</small>
女性	2,800円 <small>(税込)</small>
中学生から20歳未満	2,000円 <small>(税込)</small>
小学生	1,500円 <small>(税込)</small>
幼児(3歳~6歳)	500円 <small>(税込)</small>

アフター730券
PM7:30以降にご入場できるお得な券です!
2,000円 当日のみの販売
ご利用日:日~木(祝日の前日は除く)
焼肉バイキングはご利用頂けません

ご予約承ります 5名様以上

※満席時及び悪天候時はお断りする場合がございます。お早めにお申し込み下さい。
※雨天時は屋根付ビアガーデン(約300名収容)をご利用ください。

ラピタ BEER GARDEN

ビアガーデン 2019

ご要望にお応えし

焼肉食べ放題 復活開催中!

土・日・祝日を除く 焼肉 +300円

テント下増席! 雨天時 最大300人収容!

地域とともに

ラピタ 組合員の皆様へ

ご予約・お問合せ (お問合せ時間 AM9:30~PM8:00)
TEL:0853-21-6063

※飲酒運転は法律で禁じられています。※お酒は20歳になってから。

ヤクスギランド ※写真はイメージです。

JALしまね統合4周年記念

FDA チャーター便利用
FUJI DREAM AIRLINES 出雲-種子島間直行便 約1時間20分

種子島宇宙センター ※写真はイメージです。

世界遺産・屋久島と 鉄砲伝来の島・種子島

3日間

旅行実施日 令和元年 **10月29日(火)~31日(木)**

2泊とも2名様より1部屋ご用意

※添乗員が全行程同行いたします。
※別途燃油サーチャージ2,000円が必要となります。

旅行代金 (大人お1人様、2名様1室利用、出雲縁結び空港発着) (税込) **136,800円~146,800円**

掲載ツアーは、この広告でのお申し込みを受け付けておりません。
※詳しい旅行につきましては、専用パンフレットをご用意しております! (例農協観光出張営業支店までご請求ください。)

旅行企画・実施

NOKYO TOURIST CORPORATION

Tour 株式会社 農協観光 島根支店

一般社団法人日本旅行業協会 正会員 観光庁長官登録旅行業第939号

松江市千鳥町15 コープビル1F
総合旅行業務取扱管理者 水田 章信

☎ (0852) 26-2600

なすと鶏肉の梅肉和え



●材料

- 長なす…………… 1本
- 〔 鶏むね肉…………… 1枚
片栗粉
- 貝割れ…………… 1/2
- 〔 ポン酢…………… 大さじ1~2
生姜絞り汁…………… 少々
- 梅干…………… 1個
- 塩…………… 少々



●作り方

- ①長なすは、縦半分、長さ5~6cm、縦4等分する。
- ②鶏むね肉は皮を除き、5cmの削ぎ切りにして片栗粉を薄くまぶす。
- ③熱湯に塩を少々入れ、なすを4~5分ゆで、網じゃくしですくい、氷水につけ、なすをゆでた湯で鶏肉をゆで、氷水につける。
- ④ボールに水気をしぼったなす、鶏むね肉、貝割れ、ポン酢、生姜絞り汁、たたいた梅干を入れ混ぜる。

★生姜、ポン酢味であっさりした味です。パサつきがちなむね肉は片栗粉をつけてしっとりさせています。秋なすがおいしい残暑が残る秋にピッタリな一品です。

黒ごま団子



●材料 (10個分)

- だんごの粉…………… 130g
- 砂糖…………… 大さじ2
- 黒すりごま…………… 大さじ3
- 水…………… 160cc
- こしあん…………… 200g

●作り方

- ①あんを10個に丸めておく。
- ②あん以外の材料を耐熱容器に入れ混ぜとく。
- ③ラップをふんわりしてレンジに2~3分かけ、つくように混ぜる。
- ④③が熱いうちに丸めたあんを包む。



★簡単に電子レンジでできる和菓子です。こしあんを包みこんだゴマだんごです。ミニサイズなので、デザートを一品加えたいときなどに便利です。熱いうちにあんを包むときれいに仕上がります。

表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通 (ののむらなおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は「第9回高校生の神楽甲子園」に初出場した、島根県立飯南高等学校神楽愛好会の演目【日本武尊】のワンシーンです。有志のクラブ活動として1~3年生の生徒8人が愛好会を発足。地元で活動する飯南神楽団に指導を仰いで稽古を重ねました。熊襲の賊長「川上猛」を打ち倒すシーンでは、大勢の観客が沸き立ちました。

編集後記

我が子が通う小学校では、夏休みの間に各教室へのエアコン設置が完了したそうです。これまでエアコン無しだったことに驚くとともに、子ども達の学習環境が改善されたことに安心しました。夏のうだるような暑さなど「異常」気象が恒常化しつつある昨今、昔と今は違うことを理解し、家庭でも職場でも適切な環境整備に努めなければならないと改めて感じます。(和)

【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっています。原画の全体は次のとおりです。

